

「駅ホームにおける安全性向上のための検討会」 中間とりまとめ(平成28年12月)のフォローアップ概要

【フォローアップのポイント】

- 平成32年度までに183駅のホームドア整備計画有り。交通政策基本計画の目標800駅を前倒し達成見込み。特に、利用者10万人/日以上駅のうち、整備条件を満たす全駅でホームドアの整備計画有り
- 平成30年度までに、利用者1万人/日以上駅で、内方線付き点状ブロックの整備が概ね完了
- 視覚障害者が参画した研修、旅客を対象とした声かけキャンペーンなどソフト対策の取組が拡大

(「中間とりまとめ」における転落防止対策)

- ホームドアの整備
 - ・ **転落事故の約半数を占める利用者 10 万人/日以上駅を優先的に整備**
 - (ア)車両の扉位置が一定など整備条件を満たしている場合、原則として平成 32 年度までに整備
 - (イ)整備条件を満たしていない場合、**新型ホームドアや車両更新を検討**
 - (i) **新型ホームドア**により対応する場合、概ね 5 年を目途に整備又は整備着手
 - (ii) **車両更新**により対応する場合、更新後速やかに整備
 - (iii)扉位置不一致等の解消困難な場合等、駅員等による誘導案内等のソフト対策を重点実施
 - ・ 利用者 10 万人/日未満の駅は、駅の様態等を勘案して整備
- 新型ホームドアの普及促進
 - ・ 扉位置不一致等の課題を解消する**新型ホームドア(昇降ロープ式等)を積極的に普及促進**
→こうした取組により、交通政策基本計画(平成 27 年 2 月閣議決定)において、**平成 32 年度に約 800 駅としている整備目標について、できる限りの前倒しを図る**
- 内方線付き点状ブロックの整備促進
 - ・ **転落事故の約 9 割を占める利用者 1 万人/日以上駅を平成 30 年度までに整備**
- ソフト面の対策
 - ・ **駅員等による誘導案内の強化と接客能力の向上** ・ **旅客による声かけ、誘導案内の促進**
 - ・ 駅における盲導犬訓練等への協力

(転落防止対策の取組状況)

1. ホームドア

- (1) **鉄道駅全体**(725駅を整備済み(平成 29 年度末))
平成 32 年度までに183駅の整備計画有り。交通政策基本計画の目標(約 800 駅)を前倒し達成の見込み
- (2) **利用者 10 万人/日以上駅**(275駅のうち整備済みの105駅(平成 29 年度末)を除く170駅が対象)
 - ① **平成 32 年度までに、整備条件を満たしている全35駅の整備計画あり**
加えて、**新型ホームドアや車両更新による扉位置の統一等により、22駅の整備計画有り**
 - ② 平成 33 年度以降、**新型ホームドアや車両更新の進展、駅改良にあわせた整備により**さらに101駅の整備計画有り(合計263駅が整備済みとなる見込み)。
(残る駅(12駅)等については、引き続き対応方策を検討するとともに、当面、ソフト対策を重点実施)

2. 内方線付き点状ブロック

**平成 30 年度までに、利用者 1 万人/日以上駅において、115駅の整備計画あり
概ね整備完了見込み**

3. ソフト面の対策

- ・ **視覚障害者が参画した研修等の取組(予定含む)の増加**(平成 29 年度 19 社→平成 30 年度 27 社)
- ・ **全国の鉄道事業者等が連携して「声かけ・サポート」運動 強化キャンペーンを実施**
(平成 29 年度 32 社 5 団体→平成 30 年度 76 社 6 団体)
- ・ **盲導犬訓練等への協力(予定含む)が増加**(平成 29 年度 115 件→平成 30 年度 120 件)

※ 現時点での見込みであり、今後変更があり得る

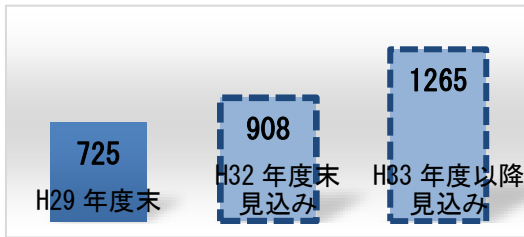
【参考】

(1)【ハード面の対策】

○ ホームドアの整備([]は前回検討会からの増加駅数を表示)

(ホームドア設置駅数の見込み (駅全体))

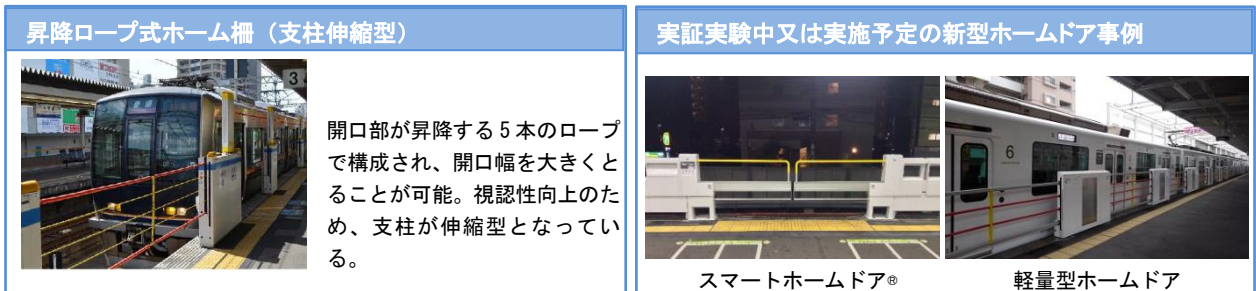
(ホームドア設置駅数の見込み (利用者 10 万人/日駅))



○ 車両扉位置が不一致等の課題を解消する新型ホームドアの普及促進

■ 新型ホームドアの整備計画(10 万人/日以上駅):36 駅

(新型ホームドアの例)



○ 内方線付き点状ブロックの整備

■ 平成 30 年度までに、利用者 1 万人/日以上駅において、115 駅で整備計画あり。概ね整備完了見込み (残る駅は駅改良時等に整備予定)

○ 頭端駅の固定柵の整備

■ 平成 32 年度までに、利用者1万人/日以上頭端駅の対象165 駅のうち、161 駅を整備。概ね整備完了見込み (残る駅は駅改良時に整備予定)



(2)【ソフト面の対策】

○ 駅員等による対応の強化

- 駅員による接客コンテストなどで、視覚障害者への案内に関するロールプレイング等を実施
- サービス介助士等の資格の取得を促進

○ 駅における盲導犬育成・訓練への協力

- 申込期間短縮や各駅長判断により実施可能にするなど柔軟な対応を実施
- 盲導犬の育成・普及キャンペーン(盲導犬ふれあいウォーク・募金活動・盲導犬の寄贈)を実施

○ 転落防止対策に係るその他の取組

- 駅構内・車内での音声放送やディスプレイ、ネット動画広告、イベント等を活用した障害者への配慮・協力の促進について呼びかけ
- 視覚障害者及び一般利用者向けセミナーの実施・協力

(鉄道事業者の取組事例)



接客コンテストでの障害者への案内に関するロールプレイング
(出典：京急)



鉄道少年団による関西盲導犬協会での勉強会
(出典：JR西日本)

第8回 駅ホームにおける安全性向上のための検討会

平成30年12月21日(金)

15:00～17:00

3号館10階共用会議室

議事次第

1. 中間とりまとめのフォローアップ
 - ホームドア整備計画の進捗状況
 - 内方線付き点状ブロック整備計画の進捗状況
 - 頭端駅における固定柵整備計画の進捗状況
 - ソフト対策(駅員研修、声かけ・見守りキャンペーンなどの実施状況等)

2. 国における取り組み
 - (1) 各WGの活動報告
 - 新型ホームドアに関する技術WG
 - 駅ホーム縁端部視認性向上のためのWG
 - (2) 駅ホームからの転落事故
 - 駅ホームからの転落に関する状況
 - 駅ホームにおける視覚障害者の転落事故の傾向と分析

3. 自治体、鉄道事業者等における取り組み

4. その他

(第8回)「駅ホームにおける安全性向上のための検討会」出席者名簿

(平成30年12月21日(金) 15:00~17:00 於:3号館10階共用会議室)

【学識経験者】

中央大学	秋山 哲男	研究開発機構 機構教授	
成蹊大学	大倉 元宏	理工学部 教授	

【障害者団体・関係団体】

日本盲人会連合	竹下 義樹	会長	
視覚障害者リハビリテーション協会	原田 敦史	視覚・聴覚障害者センター 点字図書館 館長	
日本盲人社会福祉施設協議会	吉川 明	理事	
日本網膜色素変性症協会	加納 猛彦	理事	

【鉄道事業者】

北海道旅客鉄道(株)	関 淳也	安全推進部長	
東日本旅客鉄道(株)	松橋 賢一	執行役員 鉄道事業本部 安全企画部長	
	筒井 健	総合企画本部 投資計画部 次長	代理出席
東海旅客鉄道(株)	田遠 洋一郎	投資計画部長	
	宮下 喜敬	安全対策部 副長	代理出席
西日本旅客鉄道(株)	平川 英彦	鉄道本部 駅業務部 駅CS考動課長	代理出席
	小林 哲也	鉄道本部 安全推進部 安全指導課担当課長	
四国旅客鉄道(株)	谷口 正樹	鉄道事業本部 安全推進室 室長	
九州旅客鉄道(株)	前川 聡幸	上席執行役員 鉄道事業本部副本部長 安全創造部長	
	山崎 一之	鉄道事業本部 安全創造部 副課長	
東武鉄道(株)	田口 康一	鉄道事業本部 安全推進部課長	代理出席
西武鉄道(株)	福田 正明	取締役上席執行役員 計画管理部長	
	小川 克弘	安全推進部長	
京成電鉄(株)	丸山 剛史	計画管理部長	
京王電鉄(株)	野崎 弘明	鉄道事業本部 安全推進部長	
小田急電鉄(株)	立山 昭憲	交通企画部長	
	野中 俊昭	安全・技術部長	
東京急行電鉄(株)	森 智雄	鉄道事業本部 安全戦略推進委員会 統括部長	
	五島 雄一郎	鉄道事業本部 事業戦略部 総括課長	代理出席
京浜急行電鉄(株)	竹内 明男	鉄道本部 鉄道統括部長	
	久保 由樹	鉄道本部 安全推進部長	
相模鉄道(株)	小野 誠	安全推進部長	
名古屋鉄道(株)	安達 宗徳	取締役 鉄道事業本部副本部長 兼 安全統括部長	
	溝口 明宏	営業部 業務課長	
近畿日本鉄道(株)	中井 誠	鉄道本部 企画統括部 安全推進部 課長	代理出席
南海電気鉄道(株)	福原 栄二	鉄道営業本部 安全推進部 課長	代理出席
京阪電気鉄道(株)	佐伯 優	安全推進部長	
阪急電鉄(株)	三田 和司	都市交通事業本部 運輸部長	
	福井 賢一郎	都市交通事業本部 技術部課長	
阪神電気鉄道(株)	増味 康彰	都市交通事業本部 運輸部部長	
	小原 和浩	工務部 副部長・技術課長	
西日本鉄道(株)	森山 義洋	鉄道事業本部 運転車両部長	

東京地下鉄(株)	浅野 裕	鉄道本部 安全・技術部長	
	大野 正道	鉄道本部 営業部長	
札幌市交通局	川嶋 隆一	高速電車部 業務課課長	代理出席
	高辺 輝樹	高速電車部 業務課 旅客係	
仙台市交通局	笠松 直生	鉄道技術部長	
東京都交通局	牧野 和宏	企画担当部長	
	塩田 孝一	安全管理担当部長	
横浜市交通局	土屋 雄二	安全管理課 統括安全管理者	代理出席
名古屋市交通局	三輪 浩文	電車部長	
	原田 知成	設備課長	代理出席
京都市交通局	金川 泰之	高速鉄道部 技術監理課長	代理出席
大阪メトロ	市場 昭広	鉄道事業本部 統括部 バリアフリー企画課課長	代理出席
	納 正虎	鉄道事業本部 運輸部 駅務課課長	代理出席
神戸市交通局	加藤 武司	高速鉄道部施設課 設備更新担当課長	代理出席
福岡市交通局	荒木 誠吾	施設部長	

【関係協会】

(一社)日本民営鉄道協会	高橋 俊晴	常務理事 技術部長	
(一社)日本地下鉄協会	佐藤 哲夫	技術部長	代理出席

【自治体】

埼玉県	竹島 晃	企画財政部 参事兼交通政策課長	
大阪府	浅井 敏彦	都市整備部 交通道路室 都市交通課長	

【オブザーバー】

(公財)エコロジー・モビリティ財団	澤田 大輔	バリアフリー推進部 整備支援課 課長	
鉄道総研	水上 直樹	人間科学研究部 人間工学 研究室長	
	大野 央人	人間科学研究部 人間工学 主任研究員	

【国土交通省】

国土交通省 鉄道局	石井 昌平	次長	
	江口 秀二	官房技術審議官(鉄道)	
	川口 泉	技術企画課長	
	吉田 昭二	都市鉄道政策課長	
	佐々木 純	安全監理官	
	上手 研治	鉄道サービス政策室長	
	権藤 宗高	技術開発室長	

「駅ホームにおける安全性向上のための検討会」委員名簿

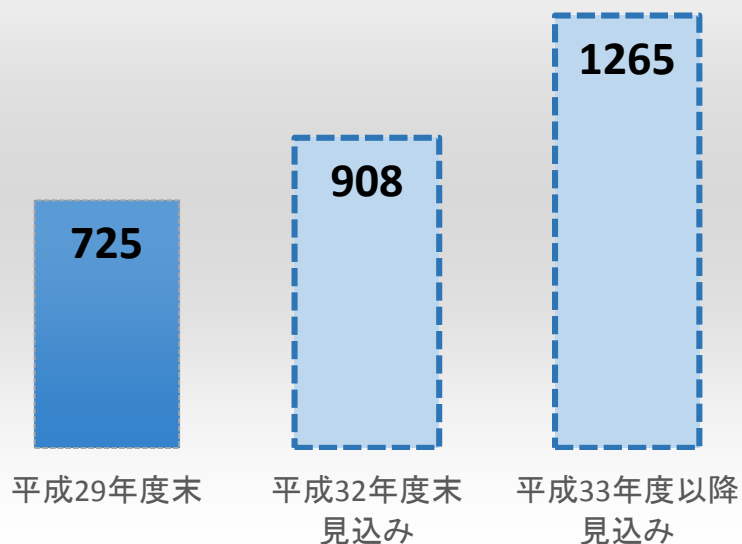
中央大学	秋山 哲男【座長】	研究開発機構 機構教授
成蹊大学	大倉 元宏	理工学部 教授
(福)日本盲人会連合	竹下 義樹	会長
視覚障害 リハビリテーション協会	原田 敦史	理事
(福)日本盲人社会福祉 施設協議会	吉川 明	自立支援施設部会盲導犬委員会 委員長
(公社)日本網膜色素 変性症協会	加納 猛彦	理事
北海道旅客鉄道(株)	関 淳也	安全推進部長
東日本旅客鉄道(株)	松橋 賢一	執行役員 鉄道事業本部 安全企画部長
	深谷 光浩	総合企画本部 投資計画部長
東海旅客鉄道(株)	田遠 洋一郎	投資計画部長
	古橋 智久	安全対策部長
西日本旅客鉄道(株)	半田 真一	取締役兼常務執行役員 鉄道本部副本部長 鉄道本部安全推進部長
四国旅客鉄道(株)	谷口 正樹	鉄道事業本部 安全推進室 室長
九州旅客鉄道(株)	前川 聡幸	上席執行役員 鉄道事業本部副本部長 安全創造部長
東武鉄道(株)	福原 秀之	鉄道事業本部 安全推進部長
	衣川 裕司	鉄道事業本部 計画管理部長
西武鉄道(株)	福田 正明	取締役上席執行役員 計画管理部長
	小川 克弘	安全推進部長
京成電鉄(株)	丸山 剛史	計画管理部長
京王電鉄(株)	野崎 弘明	鉄道事業本部 安全推進部長
	井上 晋一	鉄道事業本部 計画管理部長
小田急電鉄(株)	立山 昭憲	交通企画部長
	野中 俊昭	安全・技術部長
東京急行電鉄(株)	森 智雄	鉄道事業本部 安全戦略推進委員会 統括部長
	小井 陽介	鉄道事業本部 事業戦略部 統括部長
京浜急行電鉄(株)	竹内 明男	鉄道本部 鉄道統括部長
	久保 由樹	鉄道本部 安全推進部長
相模鉄道(株)	金田 有紀	経営管理部長
	小野 誠	安全推進部長
名古屋鉄道(株)	安達 宗徳	取締役鉄道事業本部副本部長兼安全統括部長
近畿日本鉄道(株)	江川 武史	鉄道本部 企画統括部 運転保安部長
	布施 徳彦	鉄道本部 企画統括部 安全推進部長
南海電気鉄道(株)	中林 誠	執行役員 鉄道営業本部 安全推進部長
京阪電気鉄道(株)	佐伯 優	安全推進部長
阪急電鉄(株)	三田 和司	都市交通事業本部 運輸部長
阪神電気鉄道(株)	増味 康彰	都市交通事業本部 運輸部部長
西日本鉄道(株)	森山 義洋	鉄道事業本部 運転車両部長

東京地下鉄(株)	浅野 裕	鉄道本部 安全・技術部長
	大野 正道	鉄道本部 営業部長
札幌市交通局	橋本 成年	高速電車部長
仙台市交通局	笠松 直生	鉄道技術部長
東京都交通局	塩田 孝一	安全管理担当部長
横浜市交通局	三村 庄一	高速鉄道本部長
名古屋市交通局	三輪 浩文	営業本部 電車部長
	加藤 友秋	技術本部 施設部長
京都市交通局	中山 誠昇	高速鉄道部 担当部長
大阪メトロ	前田 邦雄	鉄道事業本部 統括部長
	大矢 雅士	鉄道事業本部 駅務部長
神戸市交通局	小野 哲温	高速鉄道部長
福岡市交通局	荒木 誠吾	施設部長
(一社)日本民営鉄道協会	高橋 俊晴	常務理事 技術部長
(一社)日本地下鉄協会	石島 徹	業務部長
国土交通省 鉄道局	石井 昌平	次長
	江口 秀二	官房技術審議官(鉄道)
	五十嵐 徹人	総務課長
	川口 泉	技術企画課長
	吉田 昭二	都市鉄道政策課長
	佐々木 純	安全監理官
	上手 研治	鉄道サービス政策室長
	権藤 宗高	技術開発室長

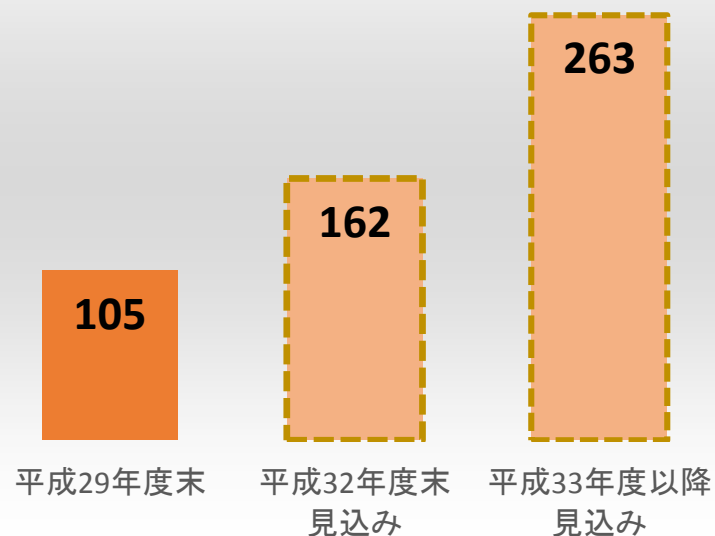
平成30年度以降のホームドアの整備計画(集計)

	ホームドア設置駅数	うち10万人以上の駅※
現状(平成29年度末)	725駅	105駅
平成32年度までに整備予定	+ 183駅	+ 57駅
計	908駅	162駅
平成33年度以降に整備予定	+ 357駅	+ 101駅
計	1,265駅	263駅

ホームドア設置駅数の見込み
(全駅)



ホームドア設置駅数の見込み
(10万人以上の駅※)



※平成29年度の利用者数が10万人/日以上 of 275駅を集計

平成30年度以降のホームドア整備計画(10万人以上の駅①)

従来型により整備予定の駅(42駅) (うち平成32年度までに35駅)		
JR東日本	山手線	東京、新橋、浜松町
	京浜東北線	北浦和、南浦和、西川口、川口、王子、(西日暮里)、(御徒町)、(秋葉原)、(神田)、(東京)、(有楽町)、(新橋)、(品川)、大森、蒲田
	総武快速線	新小岩
JR西日本	東海道線	(高槻(2,5番線))
東武	東上線	池袋、志木
	伊勢崎線	(押上)、新越谷(1,4番線)
西武	池袋線	練馬
	国分寺線	国分寺
京王	京王線	(新宿)
	井の頭線	渋谷
小田急	小田原線	下北沢、代々木上原、登戸
東急	大井町線	(二子玉川)、(自由が丘)
	池上線	五反田
相鉄	本線	海老名、大和
阪急	神戸線	神戸三宮
東京メトロ	銀座線	表参道、(溜池山王)、虎ノ門、新橋、(銀座)
	千代田線	(綾瀬)、北千住、西日暮里、(大手町)、日比谷、(霞ヶ関)、(表参道)、(代々木上原)、(明治神宮前)
東京都	新宿線	九段下、(神保町)、馬喰横山、(森下)
	浅草線	泉岳寺、(三田)、(大門)
名古屋市	名城・名港線	金山、(栄)
大阪メトロ	谷町線	東梅田
	堺筋線	堺筋本町
	御堂筋線	江坂、新大阪、梅田、淀屋橋、本町、(なんば)
	四つ橋線	西梅田
	中央線	(堺筋本町)、(本町)

新タイプにより対応予定の駅(36駅) (うち平成32年度までに15駅)		
JR東日本	京浜東北・根岸線	横浜、桜木町、関内、大船
	京浜東北線	麩、(大宮)
JR東海	東海道線	金山、(名古屋)
	中央線	(名古屋)
	東海道新幹線	(新大阪)
JR西日本	東海道線等	(大阪)、三ノ宮、京都、新大阪、神戸、明石、姫路、岡山、広島
東武	伊勢崎線	(北千住(1,2,3,4番線,特急ホーム))
西武	新宿線	西武新宿、高田馬場、所沢
	多摩湖線	(国分寺)
京成	本線	(日暮里)
小田急	小田原線	(新宿)、新百合ヶ丘、町田、相模大野、海老名、本厚木
	江ノ島線	大和
京急	本線	京急川崎、横浜、上大岡
近鉄	南大阪線	大阪阿部野橋
南海	高野線	難波
京阪	京阪本線	(京橋)
阪神	本線	神戸三宮
西鉄	天神大牟田線	西鉄福岡(天神)
東京メトロ	東西線	高田馬場、(飯田橋)、(大手町)、(日本橋)、(茅場町)、(門前仲町)、(東陽町)、(西葛西)、(葛西)、(西船橋)

- (注) 1. 下線は平成32年度までに整備予定の駅
 2. 駅数は他路線等との重複(カッコ書きの駅)を省いている。
 3. 利用者数(10万人以上)は平成29年度実績による。
 4. 平成30年4月以降に整備済となった駅を含む。
 5. 各種の状況により、計画が変更となる場合がある。

平成30年度以降のホームドア整備計画(10万人以上の駅②)

車両更新等により対応予定の駅(63駅) (うち平成32年度までに6駅)

JR東日本	中央緩行線	(代々木)、四ツ谷、市ヶ谷、水道橋、(秋葉原)、浅草橋、錦糸町、亀戸、(新小岩)、小岩、市川、本八幡、西船橋、千葉、稲毛、津田沼、船橋、高円寺、荻窪、吉祥寺、三鷹
	中央快速線	八王子
	山手貨物線	(大崎)、(恵比寿)、新宿、渋谷、(池袋)
	横浜線	新横浜、菊名、長津田、町田、橋本、(八王子)
	南武線	川崎、武蔵小杉、武蔵溝ノ口、登戸、立川
	埼京線	(池袋)、(赤羽)、武蔵浦和、大宮
	常磐緩行線	金町、松戸、柏
	常磐快速線	(上野)、(日暮里)、(北千住)、(松戸)
	京葉線	(東京)、海浜幕張、新木場、舞浜、新浦安
	武蔵野線	北朝霞、(武蔵浦和)、(南浦和)、南越谷、(西船橋)
	総武快速・横須賀線	(新橋)、(品川)、(武蔵小杉)、(横浜)、東戸塚、戸塚、(大船)、(東京)、(錦糸町)、(市川)、(船橋)、(津田沼)、(稲毛)、(千葉)
	外房線	(千葉)
	東北本線	(上野)、(赤羽)、(浦和)、(さいたま新都心)
	東北貨物線	(赤羽)、(浦和)
	宇都宮・高崎線	(大宮)
	東海道線	(東京)、(新橋)、(品川)、(川崎)、(横浜)、(戸塚)、(大船)、藤沢、辻堂、茅ヶ崎、平塚
JR西日本	大阪環状線	(京橋)、鶴橋、(大阪)、新今宮、天王寺
東武	伊勢崎線	(北千住(5,6,7番線))、(新越谷(2,3番線))
東急	田園都市線	(渋谷)、あざみ野、青葉台、長津田、中央林間
京急	本線	(京急川崎)、(横浜)、(上大岡)
京阪	京阪本線	京橋
東京メトロ	半蔵門線	(渋谷)、(表参道)、(青山一丁目)、(大手町)、(三越前)、錦糸町、押上
	日比谷線	(北千住)、(上野)、秋葉原、茅場町、八丁堀、(銀座)、(日比谷)、(霞ヶ関)、六本木、恵比寿、(中目黒)

駅改良等に併せて整備を予定している駅(17駅) (うち平成32年度までに1駅)

JR東日本	山手線	(新宿)、(渋谷)
	京浜東北線	(大宮)、(日暮里)、(浜松町)、(田町)、(川崎)
	中央緩行線	中野、(新宿)、飯田橋、御茶ノ水
	中央快速線	(東京)、(神田)、(御茶ノ水)、(四ツ谷)、(新宿)、(中野)、(高円寺)、(荻窪)、(吉祥寺)、(三鷹)、武蔵境、武蔵小金井、国分寺、国立、(立川)
	青梅線	(立川)
東武	伊勢崎線	(とうきょうスカイツリー)
	野田線	大宮
	東上線	朝霞台
京王	京王線	明大前
	井の頭線	(下北沢)、(明大前)
小田急	江ノ島線	藤沢
東急	池上線等	蒲田
京急	本線	品川
名鉄	名古屋本線	名鉄名古屋
阪神	本線	梅田(1番線)
新京成	新京成線	松戸
東京メトロ	銀座線	渋谷(1,2番線)

- (注) 1. 下線は平成32年度までに整備予定の駅
 2. 駅数は他路線等との重複(カッコ書きの駅)を省いている。
 3. 利用者数(10万人以上)は平成29年度実績による。
 4. 平成30年4月以降に整備済となった駅を含む。
 5. 各種の状況により、計画が変更となる場合がある。

平成30年度以降のホームドア整備計画(10万人未満の駅①)

10万人未満の駅(382駅) (うち平成32年度までに126駅)		
JR東日本	山手線	高輪ゲートウェイ(新駅)
	京浜東北線	与野、東十条、上中里、(田端)、(鶯谷)、新子安、東神奈川、(高輪ゲートウェイ(新駅))
	東北本線	尾久
	中央緩行線	東中野、大久保、千駄ヶ谷、信濃町、両国、平井、下総中山、西荻窪、阿佐ヶ谷、東船橋、幕張本郷、幕張、新検見川、西千葉
	中央快速線	(西荻窪)、(阿佐ヶ谷)、東小金井、西国分寺、日野、豊田、西八王子、高尾
	青梅線	西立川、東中神、中神、昭島、拝島
	京浜東北・根岸線	山手、石川町、根岸、磯子、新杉田、洋光台、港南台、本郷台
	横浜線	(東神奈川)、大口、淵野辺、小机、鴨居、中山、十日市場、成瀬、古淵、矢部、相模原、相原、八王子みなみ野、片倉
	南武線	尻手、矢向、鹿島田、平間、向河原、武蔵中原、武蔵新城、津田山、久地、宿河原、中野島、稲田堤、矢野口、稲城長沼、南多摩、府中本町、分倍河原、西府、矢川、西国立、谷保
	武蔵野線	(府中本町)、北府中、西国分寺、新小平、新秋津、東所沢、新座、西浦和、東浦和、東川口、越谷レイクタウン、吉川、吉川美南、新三郷、三郷、南流山、新松戸、新八柱、東松戸、市川大野、船橋法典
	常磐緩行線	亀有、北松戸、馬橋、(新松戸)、北小金、南柏、北柏、我孫子、天王台、取手
	常磐快速線	三河島、南千住、(我孫子)、(天王台)、(取手)
	埼京・川越線	板橋、十条、北赤羽、浮間船渡、戸田公園、戸田、北戸田、中浦和、南与野、与野本町、北与野、日進、西大宮、指扇、南古谷、川越
	京葉線	八丁堀、越中島、潮見、葛西臨海公園、市川塩浜、二俣新町、南船橋、新習志野、検見川浜、稲毛海岸、千葉みなと、蘇我
	総武快速・横須賀線	馬喰町、新日本橋、西大井、新川崎、保土ヶ谷、北鎌倉、鎌倉、逗子
成田線	(成田空港)、(空港第2ビル)	

10万人未満の駅		
JR東海	東海道線	刈谷
JR西日本	山陽線	西明石
JR九州	筑肥線	下山門、今宿、九大学研都市、周船寺、波多江、糸島高校前(新駅)、筑前前原
東武	伊勢崎線	北越谷、小菅、五反野、梅島、西新井、竹ノ塚、谷塚、草加、獨協大学前、新田、蒲生、越谷、せんげん台、春日部、久喜
	東上線	朝霞、北池袋、下板橋、大山、中板橋、ときわ台、上板橋、東武練馬、下赤塚、成増、上福岡、ふじみ野
	野田線	流山おおたかの森
京成	本線・空港線	(空港第2ビル)、(成田空港)
京王	京王線	飛田給
小田急	小田原線	代々木八幡、東北沢、世田谷代田、梅ヶ丘
	江ノ島線	中央林間
東急	東横線	(多摩川)、白楽、東白楽
	田園都市線	池尻大橋、桜新町、二子新地、高津、梶が谷、宮崎台、鷺沼、たまプラーザ、藤が丘、田奈、つくし野、すすかけ台、南町田、つきみ野
	大井町線	下神明、戸越公園、旗の台、北千束、(大岡山)、九品仏、等々力
京急	本線・空港線	京急蒲田、羽田空港国内線ターミナル
相鉄	新線	羽沢横浜国大(新駅)
	本線	二俣川、平沼橋、西横浜、天王町、星川、和田町、上星川、西谷、鶴ヶ峰、希望ヶ丘、三ツ境、瀬谷、相模大野、さがみ野、かしわ台
	いずみ野線	湘南台、南万騎が原、緑園都市、弥生台、いずみ野、いずみ中央、ゆめが丘
阪急	宝塚・京都線	十三

- (注) 1. 下線は平成32年度までに整備予定の駅
 2. 駅数は他路線等との重複(カッコ書きの駅)を省いている。
 3. 利用者数(10万人以上)は平成29年度実績による。
 4. 平成30年4月以降に整備済となった駅を含む。
 5. 各種の状況により、計画が変更となる場合がある。

平成30年度以降のホームドア整備計画(10万人未満の駅②)

10万人未満の駅		
東京臨海高速	りんかい線	国際展示場、大井町
埼玉高速	埼玉高速線	(浦和美園(3番線))
横浜高速	みなとみらい線	新高島、馬車道、日本大通り、元町・中華街
成田空港高速	成田空港高速鉄道線	成田空港、空港第2ビル
北大阪急行	南北線	箕面船場阪大前(新駅)、箕面萱野(新駅)
大阪高速	大阪モノレール線	千里中央
沖縄モノレール	沖縄都市モノレール線	首里、石嶺、経塚、浦添前田、てだこ浦西
東京メトロ	銀座線	京橋
	千代田線	町屋、千駄木、根津、湯島、新御茶ノ水、二重橋前、(国会議事堂前)、赤坂、乃木坂、代々木公園
	日比谷線	広尾、神谷町、虎ノ門ヒルズ(新駅)、東銀座、築地、人形町、小伝馬町、仲御徒町、入谷、三ノ輪、南千住
	東西線	落合、早稲田、神楽坂、竹橋、木場、南砂町、浦安、南行徳、行徳、妙典、原木中山
	半蔵門線	(永田町)、半蔵門、神保町、水天宮前、清澄白河、住吉
東京都	新宿線	新宿三丁目、曙橋、市ヶ谷、小川町、岩本町、浜町、菊川、住吉、西大島、大島、東大島、船堀、二之江、瑞江、篠崎、本八幡
	浅草線	新橋、西馬込、馬込、中延、戸越、五反田、高輪台、東銀座、宝町、日本橋、人形町、東日本橋、浅草橋、蔵前、浅草、本所吾妻橋

10万人未満の駅		
名古屋市	名城・名港線	東別院、上前津、矢場町、(久屋大通)、市役所、名城公園、黒川、志賀本通、(平安通)、大曽根、ナゴヤドーム前矢田、砂田橋、茶屋ヶ坂、自由ヶ丘、(本山)、名古屋大学、八事日赤、八事、総合リハビリセンター、瑞穂運動場東、(新瑞橋)、妙音通、堀田、伝馬町、神宮西、西高蔵、日比野、六番町、東海通、港区役所、築地口、名古屋港
大阪メトロ	御堂筋線	東三国、西中島南方、中津、大国町、動物園前、西田辺、昭和町、長居、我孫子、北花田、新金岡、中百舌鳥
	四つ橋線	(大国町)
	中央線	(コスモスクエア)、大阪港、朝潮橋、弁天町、九条、(阿波座)、谷町四丁目、(森ノ宮)、(緑橋)、深江橋、高井田、長田
神戸市	西神・山手線	西神中央、新長田、名谷、西神南、伊川谷、学園都市、総合運動公園、妙法寺、板宿、長田、上沢、湊川公園、大倉山、県庁前、新神戸
福岡市	七隈線	中間(仮称)(新駅)、博多(仮称)(新駅)

- (注) 1. 下線は平成32年度までに整備予定の駅
 2. 駅数は他路線等との重複(カッコ書きの駅)を省いている。
 3. 利用者数(10万人以上)は平成29年度実績による。
 4. 平成30年4月以降に整備済となった駅を含む。
 5. 各種の状況により、計画が変更となる場合がある。

平成30年度以降の内方線付き点状ブロック整備計画(1万人以上の駅)

平成30年度までに整備予定(115駅)

JR東日本	信濃町、八丁堀、越中島、新日本橋、北赤羽、尾久、上中里、南流山、鹿島田、新子安、新川崎、尻手、矢向、宿河原、中野島、稲田堤、鶴見小野、弁天橋、小机、根岸、新杉田、保土ヶ谷、国府津、小田原、熱海、伊東、香川、寒川、海老名、上溝、南橋本、昭島、小作、矢川、秋川、東中神、八王子みなみ野、西国立、新小平、北八王子、東飯能、西立川、中神、蓮田、白岡、新白岡、東鷲宮、栗橋、古河、野木、南古谷、西浦和、栃木、本庄、北鴻巣、行田、小川町、佐貴、神立、牛久、大甕、常陸多賀、蘇我、市川塩浜、葛西臨海公園、両国、幕張、新検見川、佐倉、鎌取、大網、茂原、五井、姉ヶ崎、長浦、君津、新習志野、岩沼、名取、宮城野原、中野栄、白山、篠ノ井、袖ヶ浦
JR四国	高松、坂出、徳島
東武鉄道	竹ノ塚、野田市、大山、川角、杉戸高野台、幸手、
西武鉄道	恋ヶ窪
京成電鉄	勝田台、八千代台、京成関屋、京成立石
京浜急行電鉄	新馬場、鮫洲、六郷土手、神奈川新町、黄金町、井土ヶ谷、屏風浦、杉田、東門前、三崎口
長野電鉄	長野
秩父鉄道	熊谷
千葉都市モノレール	千葉みなと、都賀
神戸電鉄	鈴蘭台
広島電鉄	紙屋町西、広電西広島

駅改良等により整備時期が平成31年度以降となる駅(9駅)

JR四国	松山
JR九州	門司港、門司、黒崎、筑前前原
西武鉄道	多磨
新京成電鉄	常盤平
伊豆箱根鉄道	小田原
広島電鉄	広島

- (注) 1. 利用者数(1万人以上)は平成29年度実績による。
 2. 平成30年4月以降に整備済となった駅を含む。
 3. 各種の状況により、計画が変更となる場合がある。

1.平成32年度までに固定柵を整備 (改良含む) 予定 (52 駅)

JR北海道	小樽
JR東日本	甲府、高尾、上野、取手、横須賀、川崎、大網、郡山、福島、仙台、山形、秋田、長野
JR西日本	福井、草津、京都、姫路、岡山、広島、天王寺、兵庫、岩国
東武	館林
西武	本川越、(国分寺)
京急	浦賀、小島新田、京急川崎、新逗子
名鉄	新安城
南海	難波、和歌山市
京阪	淀屋橋
阪急	梅田
山陽	山陽姫路
大阪メトロ	住之江公園
長野電鉄	長野
東葉高速	東葉勝田台
箱根登山	箱根湯本
横浜高速	元町・中華街
豊橋鉄道	新豊橋

叡山鉄道	出町柳
神戸電鉄	新開地、三田
高松琴平電鉄	高松築港、瓦町
IGRいわて銀河鉄道	盛岡
あいの風とやま鉄道	富山
IRいしかわ鉄道	金沢
阪堺	天王寺駅前
広島電鉄	西広島

2. 大規模改良予定の駅 (4 駅)

JR九州	長崎
西武	西武球場前
名鉄	名鉄岐阜
広島電鉄	広島

※頭端駅：線路終端側に向けて旅客流動のある(改札口や階段等がある)ホームを有する駅(切欠きホームを有する駅を含む)

1万人以上の頭端駅：165駅
(109駅は整備済み)

※()駅は固定柵を整備せずに、ホームドアを整備することで対応予定駅。
駅数は他社との重複(*駅)を省いている。

「駅ホームにおける安全性向上のための検討会」中間とりまとめ フォローアップについて(ソフト対策)

○ 鉄道事業者では、駅員等による誘導案内の強化と接客能力の向上など、ソフト面での対策についても、取組の充実・強化を進めているところ。以下に、その先進的な取り組みについての事例を記載。

【鉄道事業者の取組事例】

① 研修等の充実

- ・ 駅員による接客コンテストなどにおいて、視覚障害者への案内に関するロールプレイング等を実施。(JR東海・JR西日本・京成・京王・小田急・東急・京急・相鉄・東京メトロ・京阪・西鉄・大阪メトロ・他)
- ・ 障害者団体等の協力による、障害者が講師となっている研修(自社開催又はエコモ財団「交通サポートマネージャー研修」等)への参加。(JR東日本・JR東海・JR西日本・JR九州・西武・京成・京急・小田急・他)
- ・ サービス介助士等の資格取得促進。(JR東日本・JR東海・JR西日本・全国大手民鉄(16社)・他)



接客コンテストにおいて、障害者への案内に関するロールプレイングを実施(出典:京急)

② 盲導犬育成・訓練への協力

- ・ 申込期間の短縮、各駅長の判断で実施できるなど、柔軟な対応を実施。(JR東日本・JR東海・JR九州・京成・京王・名鉄・阪神・西鉄・東京メトロ・横浜市交通局・大阪メトロ・他)
- ・ 毎年、盲導犬の育成・普及キャンペーン(盲導犬ふれあいウォーク・募金活動・盲導犬の寄贈)を実施。(相鉄)

③ 転落防止対策に係る独自対策

- ・ 自治体や学校と協力して、駅ボランティア活用などの実施・検討。(西武・京王・東京メトロ・他)
- ・ 自治体に対する障害者関連施設の情報収集の実施や盲学校・視覚特別支援学校を訪問し、電車の利用状況等のヒアリングを実施。(京王・東急・京急・西鉄・他)
- ・ 障害者への配慮・協力の促進(キャンペーン)について、駅構内・車内における音声放送やディスプレイ、ネット動画広告、イベント等で呼びかけ。(JR東日本・JR東海・JR西日本・JR九州・他)
- ・ 把握した視覚障害者のお客さまについて、リストを作成し、利用頻度や区間等の情報を社内で共有。(JR四国・南海)
- ・ 利用者である視覚障害者(高校生含む)及び一般利用者(鉄道少年団、一般市民)向けのセミナーの実施・協力。(JR東日本・JR西日本・東武・東京メトロ・名古屋市交・西鉄)



鉄道少年団による関西盲導犬協会での勉強会(出典:JR西日本)

1. 設置趣旨

「駅ホームにおける安全性向上のための検討会」中間とりまとめ（平成28年12月）を受け、コスト低減等によるホームドアの一層の普及促進のため、「新型ホームドアに関する技術WG」を設置する。

2. WGの概要

〔WGの構成〕

鉄道事業者：JR旅客6社、大手民鉄16社、
公営地下鉄5局（27社局）
行政機関：国土交通省鉄道局（事務局）
オブザーバー：自動車技術総合機構交通安全環境研究所、
日本鉄道車両機械技術協会、
鉄道総合技術研究所、
日本民営鉄道協会、日本地下鉄協会

〔WG開催結果〕

- 平成29年 1月 第1回WG
新型ホームドアに関するメーカー（8社）との意見交換
- 平成29年 3月 WGメンバーによる現地視察①
新型ホームドア開発メーカーの事業所を視察（昇降ロープ式ホーム柵（支柱伸縮式）、昇降ロープ式ホームドア、軽量型ホームドア）
- 平成29年 4月 WGメンバーによる現地視察②
町田駅（スマートホームドア®）及び九段下駅（大開口ホーム柵）を視察
- 平成29年10月 WGメンバーによる現地視察③
愛甲石田駅（昇降バー式ホーム柵）を視察
- 平成29年12月 有識者、当事者団体との意見交換会
- 平成30年 3月 ホームドア導入検討手引き（第2版）の配布
（以降、新型ホームドアの開発状況を踏まえ適宜開催予定）

WGの開催状況

（実証実験視察状況）



JR東日本（町田駅）



東京メトロ（九段下駅）

ホームドア導入検討の手引き（第1版）

1. 手引き作成の目的
新型ホームドアの普及促進のため、これまでの技術開発過程で蓄積された知見・ノウハウをまとめた。
2. 手引きの構成（主な検討項目等）
 - (1) 車両ドア位置等を踏まえた設置方法
 - (2) ホームへの据付工事等施工方法
 - (3) ホーム端の見通しの確保
 - (4) 安全対策上の措置
 - (5) 視覚障害者など様々な利用者の意向把握と反映 など






ホームドア導入検討の手引き改訂（第2版）

主な改訂事項

1. 実証試験を通じて、関係者の意見を踏まえた仕様の変更・改良事項を反映。
2. 視覚障害者等への配慮
 - (1) 昇降タイプのホームドアについて、昇降するバーに点字プレートを貼付し中央位置をわかる工夫を紹介
 - (2) 昇降タイプのホームドアについて、瞬間的に近接防止センサーを支障する程度では警告音を発しないような改良や、音声案内を警告から注意喚起に変更するなどの改良を紹介
3. 旅客への適切な情報提供
特に視覚障害者がホーム上を移動するにあたり、駅の状況（ホームドアの有無や種類等）に関する情報は有用なものであることから、駅利用者に対し可能な限り詳細な情報は提供に努めることが望ましい旨を記載。

新型ホームドアの技術開発と実用化等について

タイプ名	昇降ロープ式ホーム柵 (支柱伸縮型)	実用化:2駅 整備計画等:4駅	昇降ロープ式ホームドア	整備計画:1駅	昇降バー式ホーム柵	戸袋移動型ホーム柵	
外観写真等							
開発主体	(株)JR西日本テクシア		日本信号(株)		(株)高見沢サイバネティックス	(株)京三製作所((株)神戸製鋼所)	
概要	開口部が昇降する5本のロープで構成されており、開口幅を大きくとることが可能。視認性向上のため、支柱が伸縮型となっている。		開口部が8本のロープ(ワイヤ)で構成されており、開口幅を大きくとることが可能。		開口部が3本のバーで構成されており、開口幅を大きくとることが可能。	車両のドア位置に応じてホームドア(戸袋)が移動することで、ホームドアの開く位置を変更可能。	
実用化への動き	【実用化】JR西日本 東海道線等 六甲道駅、高槻駅 【実証実験】西鉄 天神大牟田線 西鉄福岡(天神)駅(H31年2月予定) 【整備計画】JR西日本 東海道線等 大阪駅*(H31年春頃まで)、三ノ宮駅(H31年秋頃まで)及び京都駅(H33年度まで)		【整備計画】近鉄 南大阪線・大阪阿部野橋駅3番線(H30年12月～)・大阪阿部野橋駅4番線(H31年2月初旬～)		【実証実験】相鉄 いずみ野線 弥生台駅(H25年10月～H26年10月)JR東日本 八高線 拝島駅(H27年3月～)【実証実験(視認性改良型)】小田急 小田原線 愛甲石田駅(H29年9月～H30年3月)	【実証実験】西武 新宿線 新所沢駅(H25年8月～H26年2月)	
タイプ名	大開口ホーム柵	実用化:1駅 整備計画:10駅	軽量型ホームドア	整備計画:7駅	スマートホームドア®	整備計画:7駅	マルチドア対応ホームドア
外観写真等							
開発主体	ナブテスコ(株)		日本信号(株)・(株)音楽館		JR東日本メカトロニクス(株)	三菱重工交通機器エンジニアリング(株)	
概要	通常の横開きタイプのドア部を2重引き戸構造とし、開口幅を大きくとることが可能。		重量を従来型ホームドアの半分程度まで軽量化し、ホームの補強工事や設置工事費用を低減。		ドア部をフレーム構造として軽量・簡素化などを図り、本体機器費用、設置工事費用等を低減。	車両のドア位置に応じてホームドアの開く位置を変更可能。	
実用化への動き	【実用化】東京メトロ 東西線 九段下駅(H30年2月～) 【整備計画】東京メトロ 東西線・高田馬場駅(H30年6月～)・飯田橋駅*(H30年11月～)・大手町駅*、日本橋駅*、茅場町駅**、門前仲町駅、東陽町駅、西葛西駅及び葛西駅(H36年度までに整備)南海 高野線 難波駅(H30年度以降に整備着手)		【実証実験】JR九州 筑肥線 九大学研都市駅(注)(H29年11月～H32年度まで) 【整備計画】JR九州 筑肥線 下山門駅～筑前原駅間(7駅(注))(H32年度までに)		【試行導入】JR東日本 横浜線 町田駅(H28年12月～) 【整備計画】JR東日本 京浜東北線・藤駅(H31年度末)、大宮駅**、新子安駅(注)、鶯谷駅*(注)、上中里駅(注)、東十条駅(注)及び与野駅(注)(時期検討中)	【実証実験】京急 久里浜線 三浦海岸駅(H28年10月～H29年9月)	

従来型ホームドア整備済※

(注)1. 他路線等において、同整備予定※※

車両更新等による対応後に整備予定※※※

2. 各種の状況により、計画が変更となる場合がある。 3. (注)は10万人未満の駅。

※平成30年3月末時点

1 「駅ホーム縁端部視認性向上のためのWG」について

設置趣旨

「駅ホームにおける安全性向上のための検討会」中間とりまとめ（平成28年12月）を受け、ホームと線路部分のコントラストを高めるなどホーム縁端部の視認性を向上させる方策の検討を行う。

WGの概要

〔WGの構成〕

委員長：東京大学大学院工学研究科・新領域創成科学研究科
鎌田 実 教授

委員：学識経験者等、視覚障害者団体、鉄道事業者（JR旅客6社、大手民鉄3社、公営地下鉄2局）、関係協会、国土交通省

〔WGの検討項目〕

- ホーム縁端部の視認性向上策の実態把握
- ホーム縁端部の視認性向上策の評価実験
- ホーム縁端部の視認性向上策の設計要件の検討

〔WG開催結果〕

- 平成29年3月3日 第1回WG
 - ・WGの設置趣旨、検討内容、スケジュールについて了承。
 - ・実態調査の方法、実証検討の方法など具体的検討内容は、今後委員の意見を踏まえつつ調整。
- 平成29年10月3日 第2回WG
 - ・実施中の調査の中間報告。
 - ・実証検討の方向性について了承。
- 平成30年3月23日 第3回WG
 - ・実証実験の結果について報告。
 - ・考察について議論。

視認性向上策の例

（縞模様方式）



※東京メトロ HPより

- ・縞模様によって注意喚起を促す方式。
- ・色の組み合わせや縞の幅は多様。
- ・海外まで見渡せば、縞模様が縁端に直交する向きのものもある。

（色帯方式）

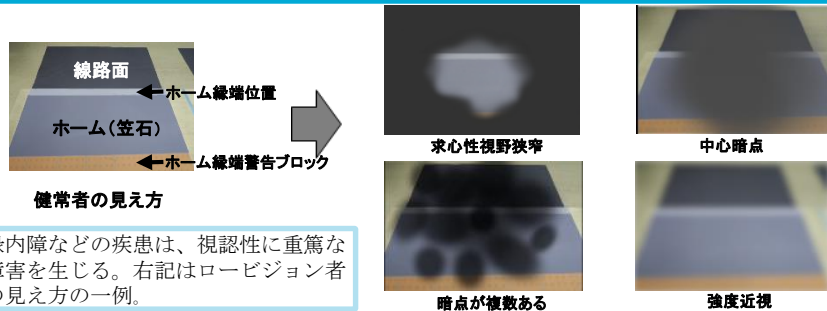


※JR東日本 CSR報告書 2016より

- ・色帯によって注意喚起を促す方式。
- ・色や帯の幅は多様。
- ・CP (Color Psychology) ラインと称されることもある。

2 視認性向上WGの検討結果～視認性向上策の導入状況と実証実験概要

○ロービジョン者の見え方



緑内障などの疾患は、視認性に重篤な障害を生じる。右記はロービジョン者の見え方の一例。

○視認性向上策の導入状況

【調査対象】
駅ホームにおける安全性向上のための検討会参加の31社

色帯方式（延べ17社が導入）



○全体の幅の内訳

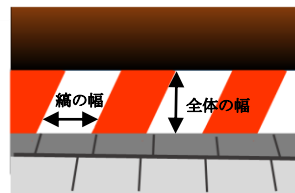
200mm	8社
150mm*	6社
100mm	3社

*145mmと153mmを150mmとカウントしている。

○帯の色の内訳 ※延べ社数

橙	8社
赤	6社*
黄	2社*
茶	1社*
白	1社

縞模様方式（延べ4社が導入）



○色は全4社が赤白

○全体の幅の内訳 ※延べ社数

400mm～500mm	3社*
500mm～600mm	2社*

○縞の幅の内訳 ※延べ社数

250mm～300mm	2社*
300mm～350mm	3社*

○実証実験の実施状況

第1次実証実験（ロービジョン者54名）



色帯の視認性評価



縞模様の視認性評価

【目的】

「ホーム縁端部の視認性」「ホーム縁端警告ブロックとの誤認の可能性」及び「目のちらつきや眼振などの不快感」などを検証し、視認性向上策（色帯、縞模様）に求められる要件を明らかにする。

【実験期間と場所】

○2017年11月28日～12月23日の延べ21日間
○鉄道総合技術研究所国立研究所

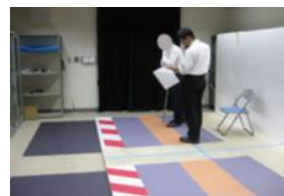
【実験環境】

○ホーム縁端部の視認性を検証するため、色覚に異常があっても認識が可能な輝度コントラストでの評価（モノクロで実験）とした。
○実験環境をより実情に近いものとするため、実際の駅ホームで実測調査を行い、その結果に基づいて、実験で使用する床材を製作した。

第2次実証実験（ロービジョン者60名）



色帯とホーム縁端警告ブロックの識別性の評価



縞模様の視認性と目への負担感の評価

【目的】

第1実験の結果を踏まえ、実環境に近いフルカラー環境で検証し、視認性向上策（色帯、縞模様）に求められる要件を明らかにする

【実験期間と場所】

○2018年2月23日～3月11日の延べ17日間
○鉄道総合技術研究所国立研究所

【実験環境】

○第1実験と同じ実験室内で、視認性向上策（色帯、縞模様）等に「色を付けた環境」で評価した。

【第2実験につながる第1実験で得られた結果】

○色付けした環境下で更なる評価が必要な項目
✓ホーム縁端警告ブロック等との識別性
✓縁端位置のわかりやすさ
✓目への負担感

3 視認性向上WGの検討結果～総論と注意または配慮すべき事項

総論

- 今回の検討は、ホーム縁端部における色帯や縞模様を施すなどの先進的な取り組みについて、ロービジョン者の視認性の観点で、効果の分析や検証を行うものであるが、現在の取り組みを否定するものではない。
- ただし、ホーム縁端部における視認性向上策の仕様は、導入しようとする鉄道事業者等が整備する線区や駅ホーム等の実状を踏まえて、安全性を中心とした十分な検討の上で決定すべきものであるが、「駅ホームのホーム縁端部視認性向上に係わる調査検討報告書(平成30年3月)」に記載している知見を活かした効果的な取り組みが推進されるべきである。
- 今回の実証実験では、色帯方式、縞模様方式ともに一定の効果が認められ、どちらかの方式が否定されるものでは無かった。
- 今後整備するものについては、方式を統一すべきではないかとの声もあったが、視覚障害者の視機能の状況による個人差が非常に大きく、単純に最大公約数となるスペックを規定することは現実的ではない。
- その一方、視覚障害者の視機能の状況による個人差もあるものの、視認性向上策の選定にあたって注意または配慮すべきものが下表のとおり確認された。仕様等の選定にあたっては、十分な配慮が必要である。
- なお、安全な駅ホームの利用にあたっては、ホームドアやホーム縁端警告ブロックなども合わせた総合的な安全対策が必要である。

色帯方式と縞模様方式の注意または配慮すべき事項

【色帯方式】

- 色帯の見えやすさ(周囲面との輝度比)は周囲環境の影響を受ける。
- 橙色や赤色の色帯は、当該色が十分に認識できない人にとっては目立たず、色帯が笠石より目立たない場合がある。
- 輝度比(色帯と周囲面)が大きいと視認性は向上する。しかし、輝度比が大きいと、色帯の幅によってはホーム縁端警告ブロックとの識別性に問題を生じる可能性がある。万一、ホーム縁端警告ブロックと誤認した場合には、ホーム縁端部より先までホームが続くと勘違いする可能性を否定できない。
- 色帯の両側に輝度比を確保するためのラインを付加すると(三層の色帯)視認性は向上する。しかし、幅が細いと、視力など視機能の状態によっては1本の白線に見える場合があり、ホーム縁端の白線との識別性に問題を生じる可能性がある。万一、白線と誤認した場合には、ホーム縁端部より先までホームが続くと勘違いする可能性を否定できない。

【縞模様方式】

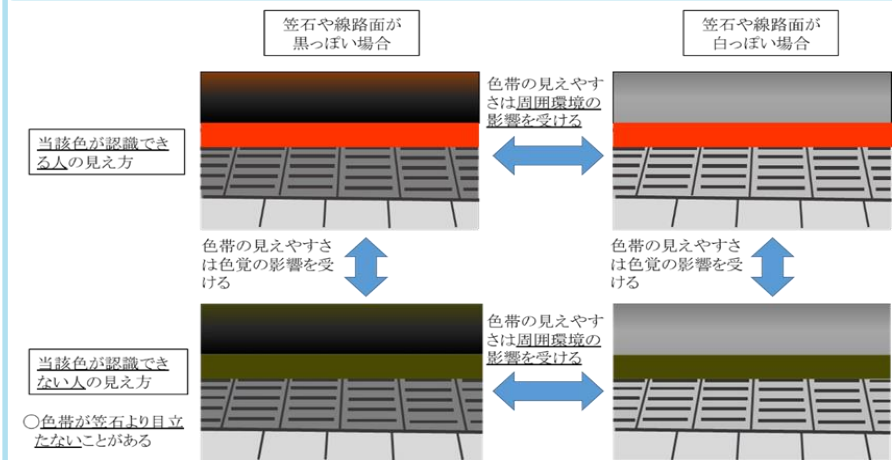
- 縞幅の細さによっては、目のちらつき、眼振^{※1}、眩しさを惹起させる場合がある。
- 縞模様の明るい面の輝度(反射率)が大きいと、縞幅や全体幅によっては眩しさを生じる場合がある。
- 赤色を含む縞模様の場合、赤色を十分に認識できない視覚障害者にとっては線路面との境界がわかりにくい場合があり、この傾向は縞幅が太い場合に大きい。
※視覚障害者には、赤色部分が黒っぽく見え、線路面と同化して見える。
- 縞模様の線路側にラインを付加することで、ホーム縁端位置のわかりやすさが向上する。また、ラインの付加により眼振が軽減されるとの声もあった。
- 縞模様の全体幅が大きいと圧迫感を生じる場合がある。
※¹眼振:意図せず眼球が揺れ動いてしまう症状のことで、物が揺れて見えたり、頭がくらくらするなどの自覚症状を伴うことがある。

4 視認性向上WGの検討結果～注意または配慮すべき事項とその対応

「駅ホーム縁端部における視認性向上策 導入検討の手引き」等の知見を活かし、駅ホームの環境条件等に適した効果的な取組を期待する。

○色帯方式

色帯の見やすさと周囲環境の影響



⇒周囲環境が暗い場合は、赤色や橙色の中でも明るい色とするなど留意する。

ホーム縁端警告ブロック・白線との誤認の可能性

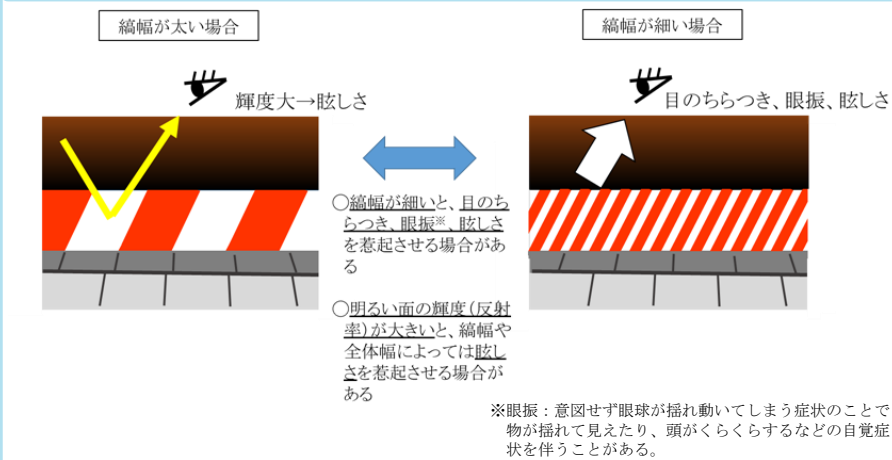


⇒誤認による転落リスクを認識した上で、以下の取り組みに留意する。

- 笠石など周囲より明るい色帯を付加する場合は、色帯の幅がホーム縁端警告ブロックや白線と同等にならないよう取り組む。
- 他の施策も合わせた総合的な安全対策に取り組む。

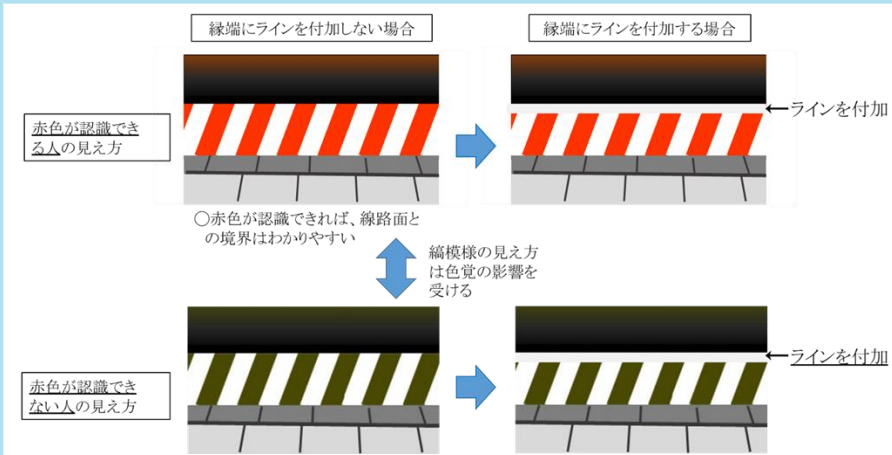
○縞模様方式

縞模様による身体への影響



⇒明るい面の輝度(反射率)が大きくなり過ぎないように留意する。縞の幅が細い場合は、全体幅が大きくなり過ぎないように留意する。

縞模様の見え方とライン付加による効果

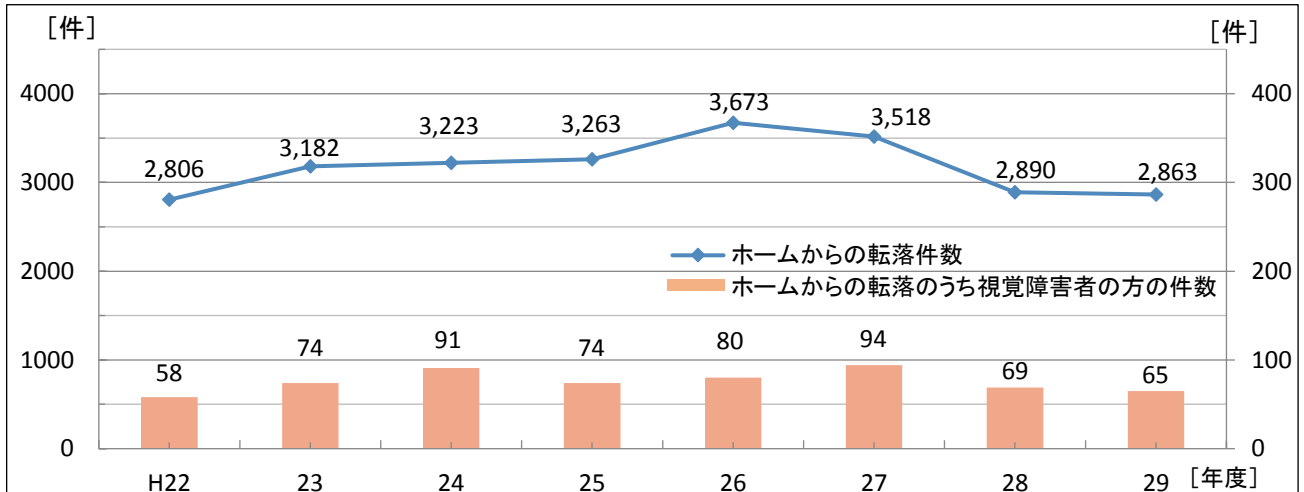


⇒縞の幅が太い場合は、ホーム縁端位置のわかりやすさに留意する。

駅ホームからの転落に関する状況

平成29年度におけるホームからの転落件数¹ は2,863件で、このうち視覚障害のある人の件数は65件でした。また、人身障害事故² のうち、「ホームから転落して列車等と接触」したものと「ホーム上で列車等と接触」したものを合わせた「ホームでの接触事故」の件数は176件で、このうち視覚障害のある人の件数は2件でした。

ホームからの転落件数の推移

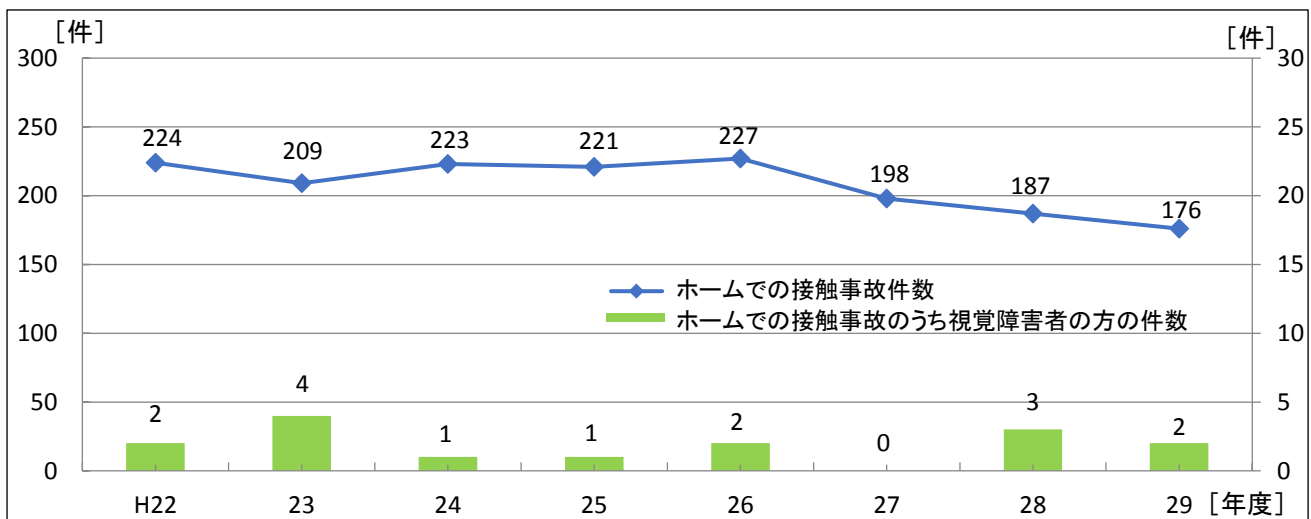


(注) ホームからの転落件数は、プラットホームから転落したが列車等と接触しなかった件数である。

(注) ホームからの転落件数は、鉄軌道事業者が把握している件数である。

(注) 自殺は含まれない。

ホームでの列車等との接触事故件数の推移



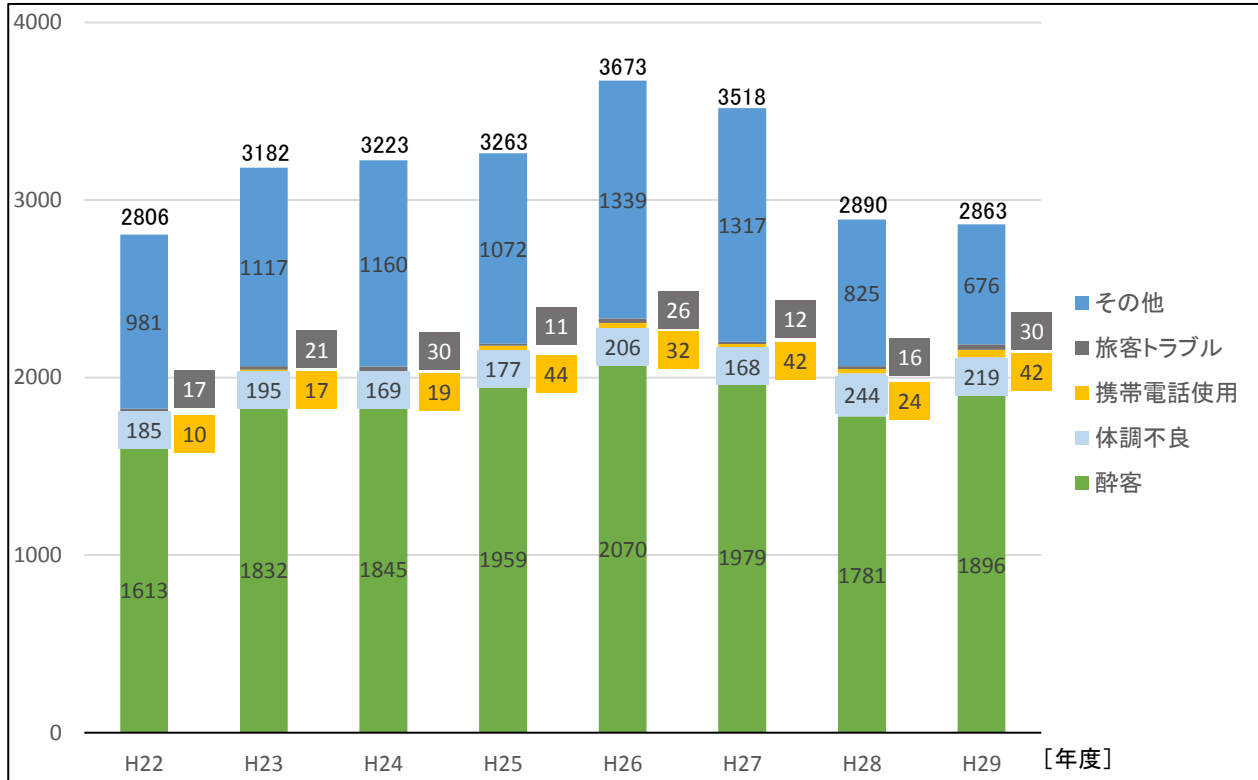
(注) ホームでの列車等との接触事故件数は、「ホームから転落して列車等と接触」及び「ホーム上で列車等と接触」して事故となった件数を合わせたものである。

(注) 自殺等故意に列車等に接触したものは含まれない。

¹ ホームからの転落件数は、プラットホームから転落したが人身障害事故とはならなかった件数である。また、自殺等、故意にホームから線路に降りたものは含まれない。

² 人身障害事故は、列車又は車両の運転により人の死傷を生じた事故をいう。ただし、脱線事故や踏切障害事故等に伴うものを除く。(鉄道事故等報告規則第3条第1項第六号)

ホームからの転落の要因別件数の推移

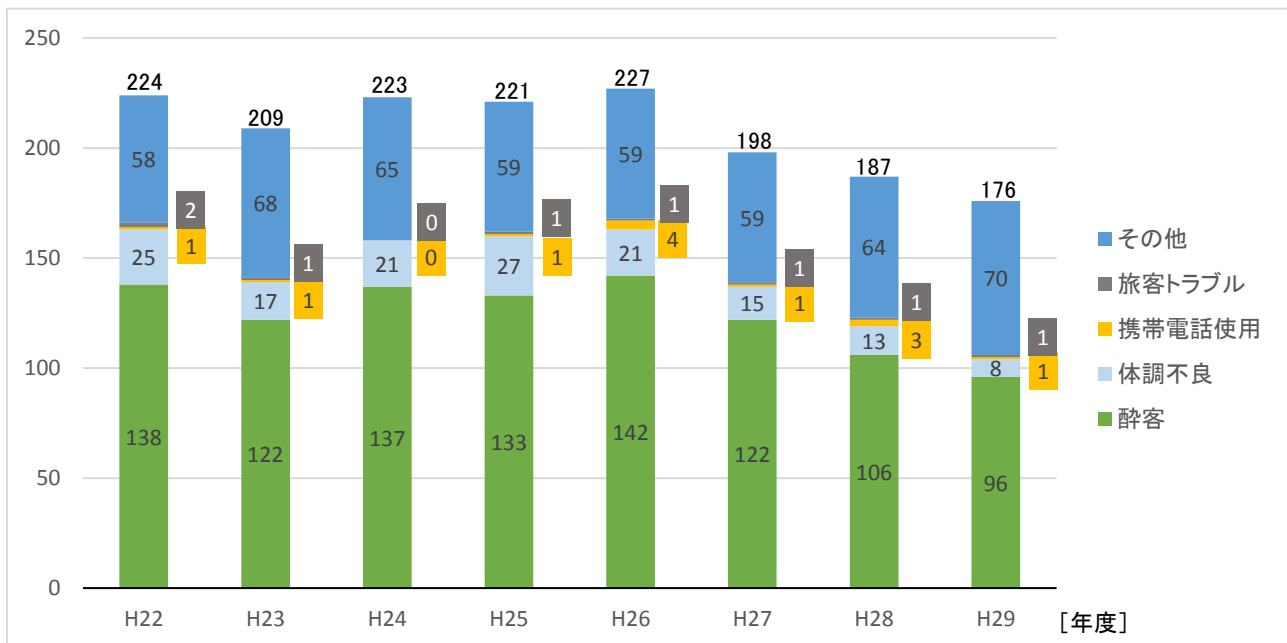


(注) ホームからの転落件数は、プラットホームから転落したが列車等と接触しなかった件数である。

(注) ホームからの転落件数及び転落要因は、鉄軌道事業者が把握している件数である。

(注) 自殺等故意にホームから線路に降りたものは含まれない。

ホームでの列車等との接触事故の要因別件数の推移



(注) ホームでの列車等との接触事故件数は、「ホームから転落して列車等と接触」及び「ホーム上で列車等と接触」して事故となった件数を合わせたものである。

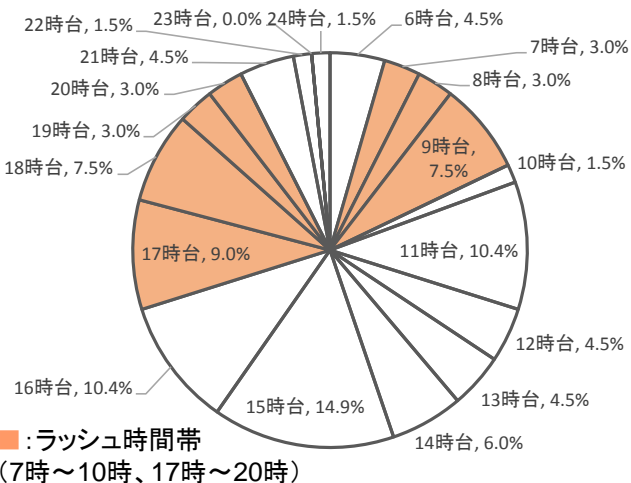
(注) 自殺は含まれない。

(注) 要因は、運転事故等届出書の概況の内容から推定される要因である。ただし、事業者側で酔客と分かった場合は「酔客」に分類される。

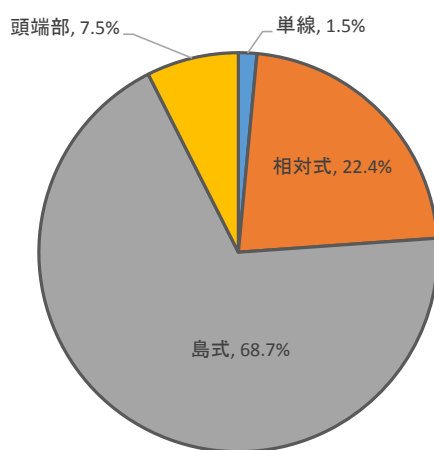
駅ホームにおける視覚障害者の転落事案の傾向と分析

転落状況の実態把握を目的に平成29年度に発生した67件を対象に発生状況を分析・整理

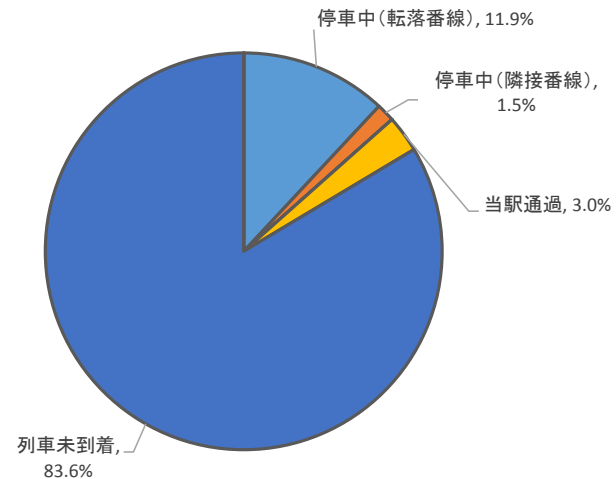
発生時間、ホーム形式、列車種別に関する分析



発生時間帯別



ホーム形式別

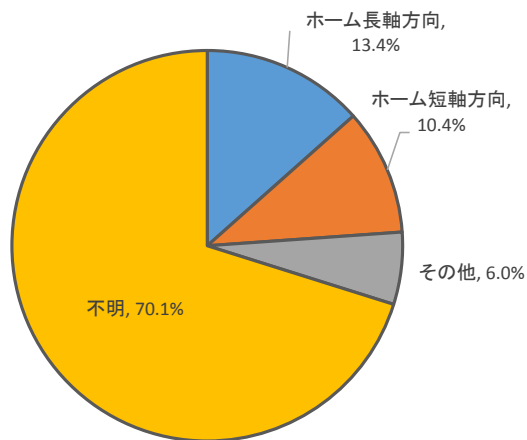


列車種別

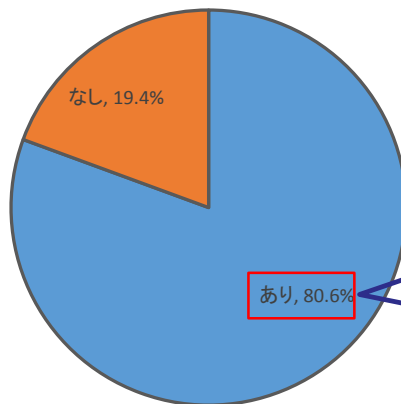
- 発生時間帯では、15時台での発生が転落事案全体の約15%と最も多く、次いで11時台および16時台が10.4%の割合を占めており、閑散時間帯において転落事案が多く発生している。
- ホームの形式別では、島式ホームでの転落が最も多く、転落事案全体の約69%を占める。
- 転落時の列車種別では、転落事案全体の約84%が列車がホーム到着以前に転落されており、その他、列車停車中における列車とホームの隙間や連結部への転落、隣接番線停車中の列車を誤認して転落する事案が見られた。

転落状況の実態把握を目的に平成29年度に発生した67件を対象に発生状況を分析・整理

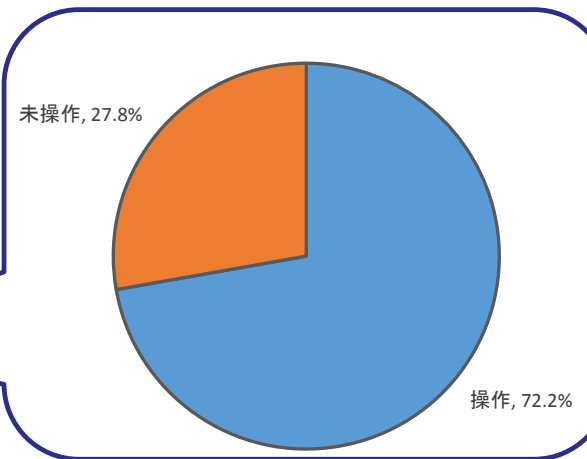
転落直前の動線、非常停止ボタン別に関する分析



転落直前の動線別



非常停止ボタンの有無別



非常停止ボタンの操作状況

○転落直前における当該者の移動動線について、把握できているもののうち、ホーム長軸方向に移動した後に転落された場合が転落事案全体の約13%、ホーム短軸方向に移動した後に転落された場合が約10%を占めている。

○非常停止ボタンが設置されている駅については、転落事案全体の約81%を占める。また、非常停止ボタンが設置されている駅のうち、転落時に旅客あるいは駅員により約72%の割合で操作されている。

駅ホームにおける転落防止対策の取組について

平成30年12月

埼玉県

埼玉県の現状等について(概要)

■ラグビーワールドカップ2019
・熊谷ラグビー場

■埼玉の観光
・秩父地域観光客数 約 **947**万人 (平成28年)
・川越観光客数 約 **704**万人 (平成28年)

■大宮駅 首都圏の北の玄関口
・新幹線 **6** 路線 (北海道、東北、秋田、山形、上越、北陸)

県人口 約 **730**万人
市町村数 **63**市町村

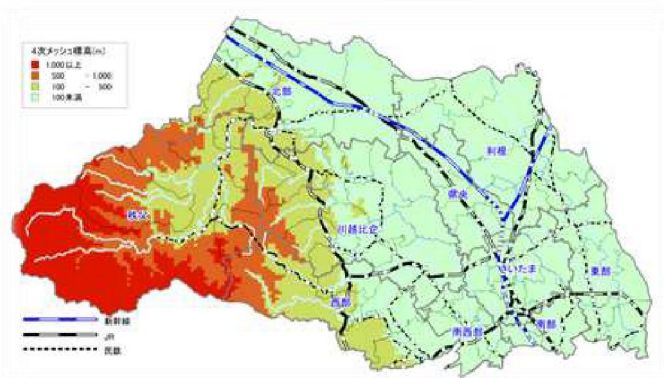
■東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会会場
・埼玉スタジアム2002 (サッカー)
・さいたまスーパーアリーナ (バスケットボール)
・霞ヶ関カンツリー倶楽部 (ゴルフ)
・陸上自衛隊朝霞訓練場 (射撃)



1 埼玉県の鉄道ネットワークの状況

都心に向かう放射路線が**南北**に整備されており、環状路線が**東西**に整備されている。

- 鉄道事業者数 **8**事業者
- 鉄道路線数 **24**路線
- 年間鉄道利用者 **24**億**8**千万人 (H28)
(駅ごとの乗降客数の総計)
- 鉄道駅数 **236**駅
- 1日利用者数
10万人以上の駅数 **18**駅



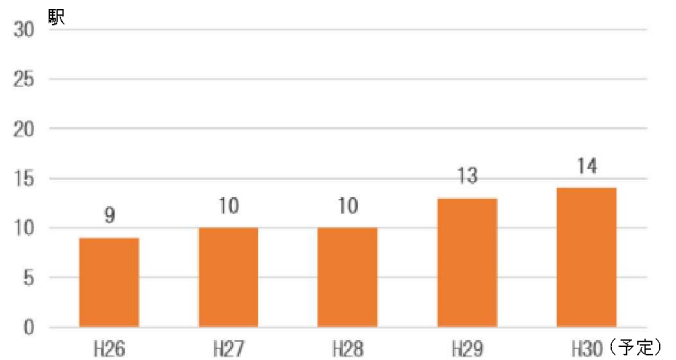
2 ホームドアの整備状況

■年度別ホームドアの整備推移(累計)

県内には**236**の鉄道駅があり、

そのうち**13**駅にホームドアが整備されている。

(平成29年度末)



駅ホームにおける転落防止対策の取組概要(ハード対策)



ホームドア整備の促進

ホームドアの整備費用を負担する市町村に対して補助する。

○平成29年度対象駅

JR京浜東北線川口駅、西川口駅
東武東上線朝霞駅、川越駅

○平成30年度対象駅

JR京浜東北線川口駅、西川口駅、蕨駅
東武伊勢崎線新越谷駅、北越谷駅
東武東上線朝霞駅、志木駅



内方線付き点状ブロック整備の促進

内方線付き点状ブロックの整備費用を負担する市町村に対して補助する。

○平成29年度対象駅

JR武蔵野線東所沢駅ほか11駅

○平成30年度対象駅

JR高崎線行田駅ほか8駅





取組1 駅ホーム声かけサポート講習会(H29～)

■趣旨

関係市及び鉄道事業者と連携し、鉄道を利用する視覚障害者が駅ホームからの転落や列車との接触などの事故に遭わないよう、駅ホームで積極的に声かけをしていただくための声かけサポート講習会を開催。

■内容

- (1) 声かけサポート講習会についての説明
- (2) 講義・体験会
 - ア 駅ホームにおける基本的なサポートの仕方について
 - イ 視覚障害のある方からの注意点について
 - ウ 鉄道事業者からのお願いについて
 - エ 駅体験会・非常停止ボタンの体験
 - オ 質疑応答
 - カ 講評

■開催実績

- (1) 平成29年度(5市5駅)
蕨市(JR蕨駅)、川口市(JR川口駅)、川越市(JR川越駅)、
越谷市(東武越谷駅)、富士見市(東武ふじみ野駅)
- (2) 平成30年度(8市7駅)
草加市(東武獨協大学前駅)、熊谷市(JR熊谷駅)、春日部市(東武春日部駅)、三郷市(JR三郷駅)、
狭山市(西武狭山市駅)、志木市・新座市(東武志木駅)、上尾市(JR上尾駅)

* 平成31年度も開催予定

駅ホーム声かけサポート講習会の様子



駅ホームにおける基本的なサポートの仕方について



視覚障害のある方からの注意点について



駅設備についての説明



駅ホームでの体験会



非常停止ボタンの体験

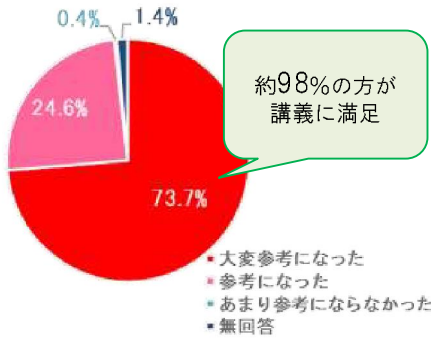


講習会修了証の交付

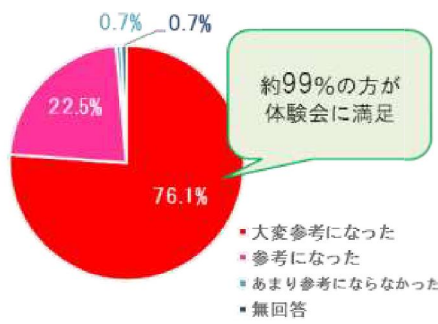
駅ホーム声かけサポート講習会のアンケート結果



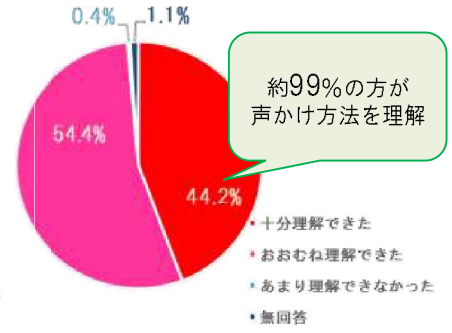
Q1 講義について



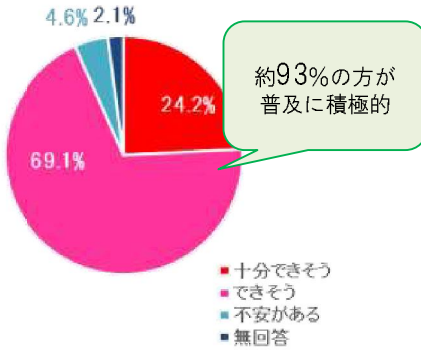
Q2 模擬体験について



Q3 視覚障害者への声かけ方法について



Q4 視覚障害者への声かけ方法の周知について



Q5 駅ホーム声かけサポート講習会に対するご意見・ご要望

視覚障害者の方から直接どのようにしたらよいのかという意見をお聞きすることができ、また、駅のホームでの実体験など大変よかったです。参考になりました。資料もわかりやすく参考になります。

講習会を受けることにより、声かけの大切さを痛感し、声かけを遠慮せず、積極的にしなくてはと思いました。ありがとうございました。

駅ホームでの声かけサポートは、概ね理解できたが、実際に電車への乗降、エスカレーターへの昇り降り等の声かけの仕方や体験など行ってほしかったです。

*平成29年度からの累計285名の回答を基に作成。
*構成比は小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計しても必ずしも100とはならない。

駅ホームにおける転落防止対策の取組概要(ソフト対策)



取組2 九都県市首脳会議での取組(H30～)

視覚障害者等への声かけや見守りなどのソフト対策を更に浸透させるため、鉄道事業者が実施する「声かけ・サポート」運動強化キャンペーンに協力し、公共施設等においてキャンペーンポスターを掲出するとともに、各自治体のホームページ等を活用してキャンペーン情報を発信した。



2018年度「声かけ・サポート」運動強化キャンペーンキックオフイベント



「声かけ・サポート」運動ポスター

*九都県市首脳会議構成メンバー：埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、横浜市、川崎市、千葉市、さいたま市、相模原市



取組3 声かけサポート推進活動への協力(H28～)

駅ホームにおける視覚障害者への声かけについて、駅利用者に対して呼びかけを実施。地元市、鉄道事業者及び埼玉視覚障害者福祉協会と啓発チラシ等を配布し、声かけをしていただけるよう呼びかけを行った。(平成28年度蕨駅西口、平成29年度蕨駅西口、平成30年度熊谷駅改札前で実施。)



蕨駅西口での声かけ推進活動の様子 (H30.1.11)



熊谷駅改札前での声かけ推進活動の様子 (H30.10.17)



取組4 声かけ・サポートハンドブックの作成(H27～)

駅ホームでの声かけ方法等をまとめた「声かけ・サポートハンドブック」を作成し、県民、市町村、大学などに広く配布している。また、埼玉県のHPにも掲載している。

* URL : <http://www.pref.saitama.lg.jp/a0109/tenrakuboushi/index.html>



大阪府内の駅ホームにおける 安全性向上の取組みについて

平成30年12月21日

大阪府 都市整備部 交通道路室
都市交通課 浅井敏彦

1

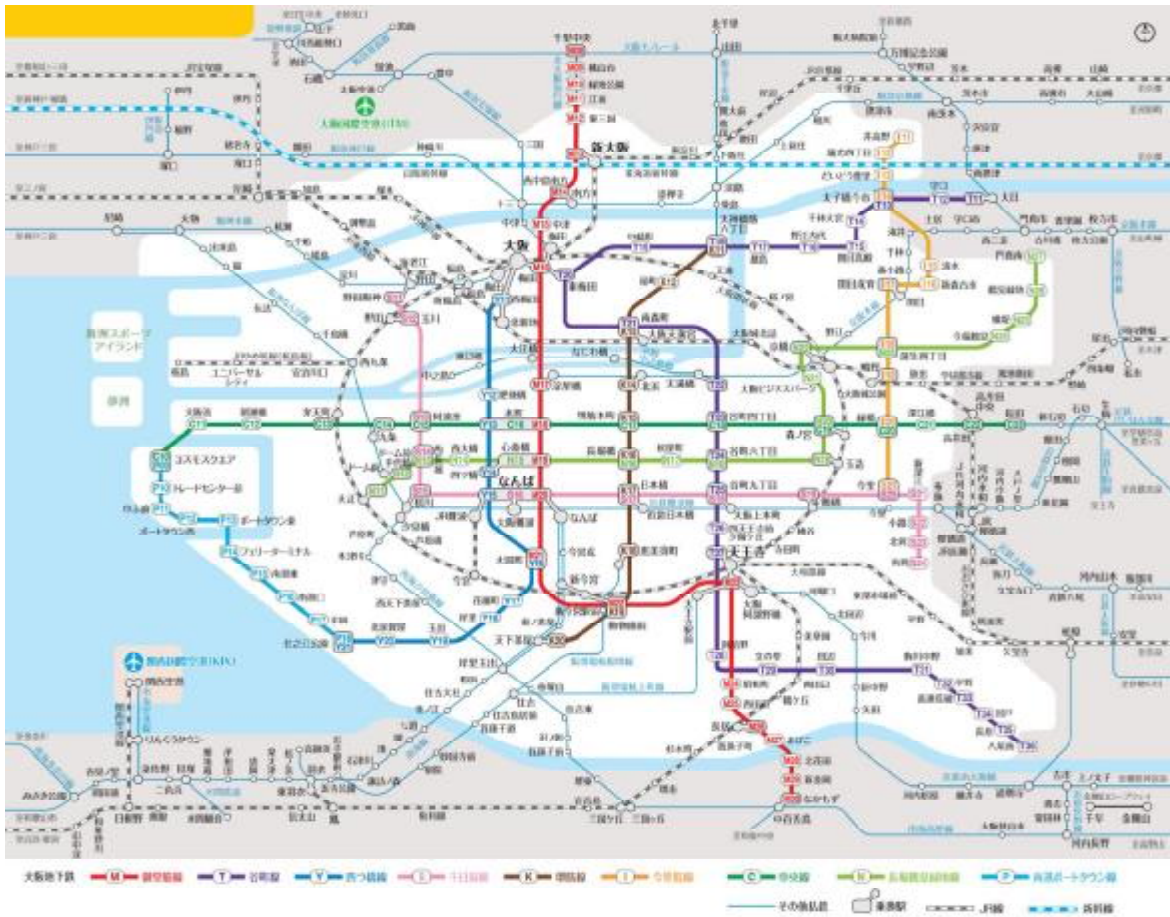
本日の内容

1. 大阪の鉄道網
2. 大阪府内の可動式ホーム柵の整備状況
3. 大阪府の補助制度について
4. 大阪府の取組み(連絡調整会議の開催)
5. 大阪府の対応方針(まとめ)
6. 可動式ホーム柵の整備予定
7. 課題解決に向けて
8. 大阪府北部地震の状況 ～大阪モノレール～

2

1. 大阪の鉄道網

大阪観光局HPより



3

2. 大阪府内の可動式ホーム柵の整備状況

大阪市営地下鉄長堀鶴見緑地線で、全17駅のうち唯一大阪市外にある門真南駅だけが柵のない“空白駅”になる見通しが強まっている

大阪府が財政難を理由に2千万円余の補助金支出を拒んでいるからだ。



府として整備促進のきっかけに

平成22年2月10日 産経新聞 夕刊

4

大阪市交通局が平成22年度中に転落防止用の可動式ホーム柵の整備を目指す市営地下鉄長堀鶴見緑地線で、全17駅のうち唯一市外にある門真南駅（門真市）だけが柵のない“空白駅”になる見通しが強まっている。大阪府が財

政難を理由に2千万円余の補助金支出を拒んでいるからだ。橋下徹知事と平松邦夫市長との間で将来の府市再編構想をめぐる論戦は熱いが、市民生活に身近な安全対策の連携は低調気味のようなだ。

鶴見緑地線「転落防止用」整備補助金

22年度は可動式ホーム柵が整備されない見通しとなった門真南駅—大阪府門真市



府市連携 安全策は低調

可動式ホーム柵は、電車到着時に車面の扉と連動して開閉し、転落や轢死の危険を防ぐ。市交通局は市営地下鉄長堀鶴見緑地線の18の駅で、22年度は可動式ホーム柵が整備されない見通しとなった門真南駅（門真市）が空白駅になる見通しが強まっている。大阪府が財政難を理由に2千万円余の補助金支出を拒んでいるからだ。府市連携は低調気味。府市連携は低調気味。府市連携は低調気味。

門真南駅は「柵」の外

11月、22年度予算案に計上の見送りを決めた。国土交通省によると、府の補助金は大阪府や地元門真市が負担する。門真市が負担する「空白駅」は、市交通局は「多額の税金を市外駅の整備に支出するのは府市の理解が得られない。門真南駅の建設時にも府から補助金を出さなかった」と否定的。門真市も「府から相対的な負担を求めたい」として、22年度は門真南駅だけ柵の整備が取り残されるのはほかに「市外にある門真南駅への柵を準備する予定で、唯一市外にある門真南駅への整備費約9300万円（うち0万円）に上る府の補助金2300万円も相対的に残りの市が負担する方針だ」としている。

大阪府内の可動式ホーム柵の整備状況(全60駅)

H29年度末時点

	設置駅数	駅名・路線名
J R 東海	1 駅	【新大阪】
J R 西日本	6 駅	北新地 大阪天満宮 【京橋】 【高槻】 【大阪】 J R 総持寺
大阪メトロ	50 駅	《今里筋線 11 駅》 今里 緑橋 鳴野 蒲生四丁目 関目成育 新森古市 清水 太子橋今市 だいでう豊里 瑞光四丁目 井高野
		《長堀鶴見緑地線 17 駅》 大正 ドーム前千代崎 西長堀 西大橋 【心斎橋】 長堀橋 松屋町 谷町六丁目 玉造 森ノ宮 大阪ビジネスパーク 京橋 蒲生四丁目 今福鶴見 横堤 鶴見緑地 門真南
		《千日前線 14 駅》 野田阪神 玉川 阿波座 西長堀 桜川 【なんば】 日本橋 谷町九丁目 鶴橋 今里 新深江 小路 北巽 南巽
		《御堂筋線 2 駅》 【心斎橋】 【天王寺】
		《南港ポートタウン線 10 駅》 コスモスクエア トレードセンター前 中ふ頭 ポートタウン西 ポートタウン東 フェリターミナル 南港東 南港口 平林 住之江公園
北大阪急行	3 駅	千里中央 桃山台 緑地公園

5 【駅名】は一日当たり10万人以上の利用者がある駅

3. 大阪府の補助制度について

■補助対象

- ① 府域の乗降客数5,000人／日以上 of 既存駅
- ② 国及び地元市町の補助を受けるもの

■補助率

民鉄	事業者	国	府	地元市町
	1/3	1/3	1/6	1/6

国: 地域公共交通確保維持改善事業費補助金
訪日外国人旅行者受入環境整備緊急対策事業費補助金

大阪メトロ	事業者	国	府	地元市町	大阪市(出資)
	25.7%	25.7%	14.3%	14.3%	20%

国: 地下高速鉄道整備事業費補助

大阪府可動式ホーム柵整備事業費補助実績一覧

年度	路線	駅名 (番線)
H23	大阪メトロ	門真南駅 (1・2番線)
H27	JR西日本	京橋駅 (1番線) 高槻駅 (1・6番線) 昇降式ロープ柵
H28	JR西日本	大阪駅 (6・7番線) 高槻駅 (2・5番線)
	阪急	十三駅 (3号線)
H29	JR西日本	高槻駅 (2・5番線)
	北大阪急行	千里中央駅 (1・2番線) 桃山台駅 (1・2番線) 緑地公園駅 (1・2番線)
	阪急	十三駅 (3・4・5号線)
H30 (事業中含む)	JR西日本	大阪駅 (5・8番線) 京橋駅 (3・4番線)
	南海	難波駅 (1番線)
	近鉄	大阪阿部野橋駅 (3・4番線) 昇降式ロープ柵
	大阪モノレール	千里中央駅 (1・2番線)
合計		11駅 (27ホーム)

7

昇降式ロープ柵の例 (JR西日本 高槻駅)



上昇時

降下時



8

4. 大阪府の取組み(連絡調整会議の開催)

府内で相次いだ視覚障がい者の転落事故

- ◆平成28年10月16日 近鉄大阪線 河内国分駅
 - ・乗降客数 15,804人／日
 - ・ホーム柵 無し
 - ・内方線付き点状ブロック 無し(現在は設置済)

- ◆平成29年10月1日 JR阪和線 富木(とのき)駅
 - ・乗降客数 8,088人／日
 - ・ホーム柵 無し
 - ・内方線付き点状ブロック 無し

- ◆平成29年12月18日 阪急京都線 上新庄駅
 - ・乗降客数 47,361人／日
 - ・ホーム柵 無し
 - ・内方線付き点状ブロック 有り

9

可動式ホーム柵整備事業に関する連絡調整会議

《趣旨》

- * 視覚障がい者が鉄道駅のホームから転落して亡くなるという事故が、昨年相次いで発生。このような痛ましい事故をなくすため、駅ホームにおける転落防止対策が必要。
- * 鉄道事業者においては、社内で設置に向けた検討をされている。
- * 府としても、可動式ホーム柵の整備促進を図るため、今後も補助を実施していくが、限りある予算の中で、優先順位を定める必要。



鉄道事業者の検討状況を把握するとともに、今後の整備計画を共有したい。

《メンバー》

(一日あたり10万人以上の利用駅を有する府内鉄道事業者で構成)
西日本旅客鉄道(株)、南海電気鉄道(株)、京阪電気鉄道(株)、近畿日本鉄道(株)、
阪急電鉄(株)、阪神電気鉄道(株)、大阪市高速電気軌道(株)

10 (事務局)大阪府都市交通課、大阪市交通政策課

連絡調整会議 開催経過

開催回数	開催日	主な内容
第1回	平成29年3月30日	各鉄道事業者の取組み状況の確認
第2回	平成29年5月25日	各鉄道事業者の検討状況
第3回	平成29年6月30日	各鉄道事業者のソフト対策の紹介
第4回	平成29年10月16日	視覚支援学校の講話
第5回	平成29年12月25日	転落防止対策のとりまとめ（案）
とりまとめ	平成30年3月30日	とりまとめの公表（大阪府HP）
第6回	平成30年8月28日	各鉄道事業者の整備状況の確認

11

第4回連絡調整会議の内容（視覚支援学校の講話）

- * 大阪府立南視覚支援学校から歩行訓練士を招き、視覚障がい者を取りまく環境や駅利用にあたっての心がけを鉄道事業者に対して説明。
- * ホーム上での擬似体験研修を実施。



12

5. 大阪府の対応方針(まとめ)

『大阪府内の駅ホームにおける安全性向上の取組みについて』
平成30年3月 とりまとめ・公表

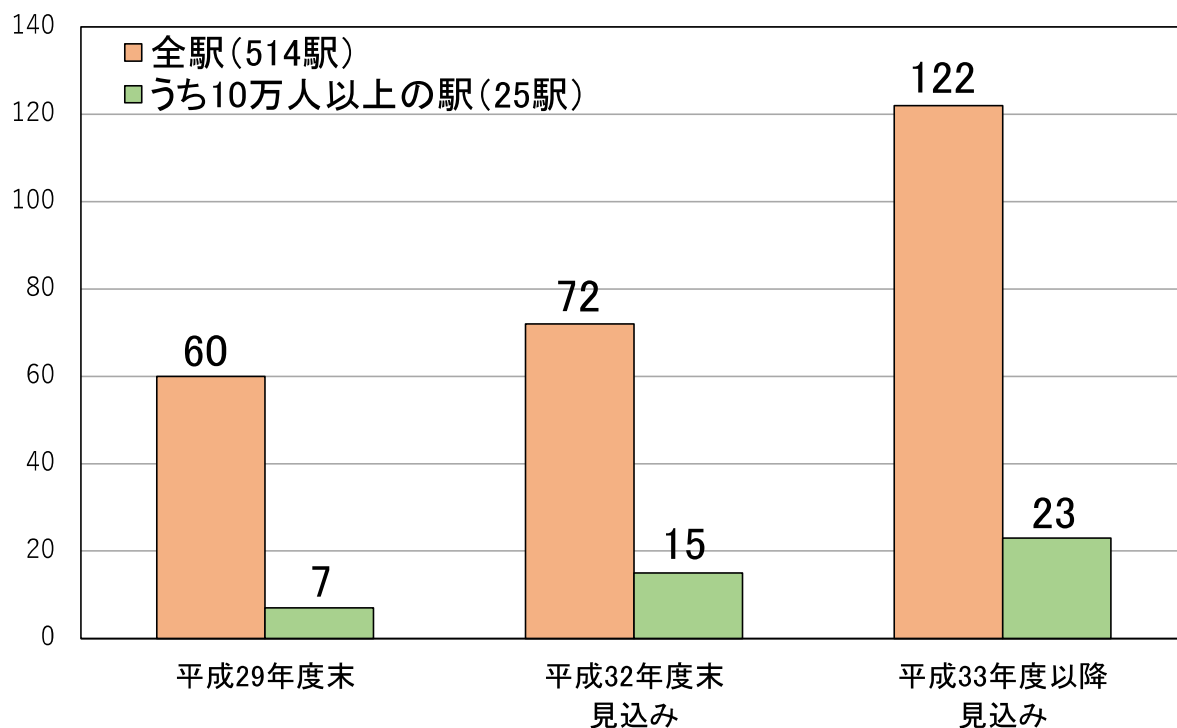
【ハード対策】

1. 可動式ホーム柵について
 - * 引き続き、国、地元市町とともに補助を実施することにより、整備促進を図る
 - (1) 国が示す一日あたり10万人以上の駅を優先的に整備
 - (2) ホーム上の混雑・乗換状況、また転落の危険性等も考慮
 - * 整備時期が未定の駅は、可能な限り、速やかに整備されるよう、鉄道事業者に働きかけていく
2. 内方線付き点状ブロックについて
 - * 可能な限り府内全駅に設置されるよう、鉄道事業者に働きかけていく

【ソフト対策】

1. 府独自の周知・啓発の取組み
 - * 府広報、ホームページ等の活用、声かけハンドブックの作成等
2. 鉄道事業者と自治体(府・市町村)が連携して取り組む体制を構築
 - * 駅利用者による声かけなど駅ホームからの転落防止対策に連携して取り組んでいく

6. 可動式ホーム柵の整備予定



平成30年3月とりまとめ結果に、平成30年7月大阪メトロの中期経営計画を反映

内方線付き点状ブロックの整備状況

(国のとりまとめに基づく整備状況)

* 1日あたり1万人以上の利用駅は、平成30年度までに整備



府内1万人以上の307駅は、平成29年度内に整備完了

(国のとりまとめに基づく整備状況)

* 1日あたり3,000人以上の利用駅については、速やかに整備



府内3,000人以上1万人未満128駅の整備予定

	設置駅/全駅	設置割合
H2017.3時点	87/128	68%
H2018.3時点	94/128	73%
H2021.3見込み	113/128	88%

15

ソフト対策の取組み

駅利用者の積極的な声かけが促進される取組みを段階的に実施

(ステップⅠ)

* 関係者(鉄道事業者・視覚障がい者等)とともに
声かけハンドブック等の啓発ツールを作成

(ステップⅡ)

* 鉄道事業者、市町村への周知

(ステップⅢ)

* 鉄道事業者、市町村とともに駅利用者への周知キャンペーン

(ステップⅣ)

* 駅利用者の声かけ実地研修、小学校等への出前講座

(ステップⅤ)

* 駅利用者の積極的な声かけによる転落事故ゼロ

鉄道利用者の安全安心が確保されるよう、関係者とともに取組んでいく。

16

7. 課題解決に向けて

取組みの方針

- ①鉄道事業者へホーム柵整備費用の補助を継続
- ②積極的な声かけが促進される取組みを推進

課題

ハード対策：費用と時間を要する
ソフト対策：意識啓発、利用者の少ない駅や
時間帯の対応
【すべての駅ホームでの安全性向上に資するには？】

解決策

AI、IoTを駆使した転落防止システムの開発、導入が必要

(導入イメージ)

- * ホーム上の防犯カメラ、スピーカーを用いて、画像認識技術、AI技術を活用して利用者へ危険である旨を自動発報
- * ホームセンサーとスマホを連携させて、ホーム端への接近警報をスマホに発信

17

8. 大阪府北部地震の状況～大阪モノレール～

2018年6月18日 午前7時58分頃 最大震度 6弱 地震の規模 マグニチュード6.1



18

《大阪モノレール被災検証委員会での検討結果(中間報告)》

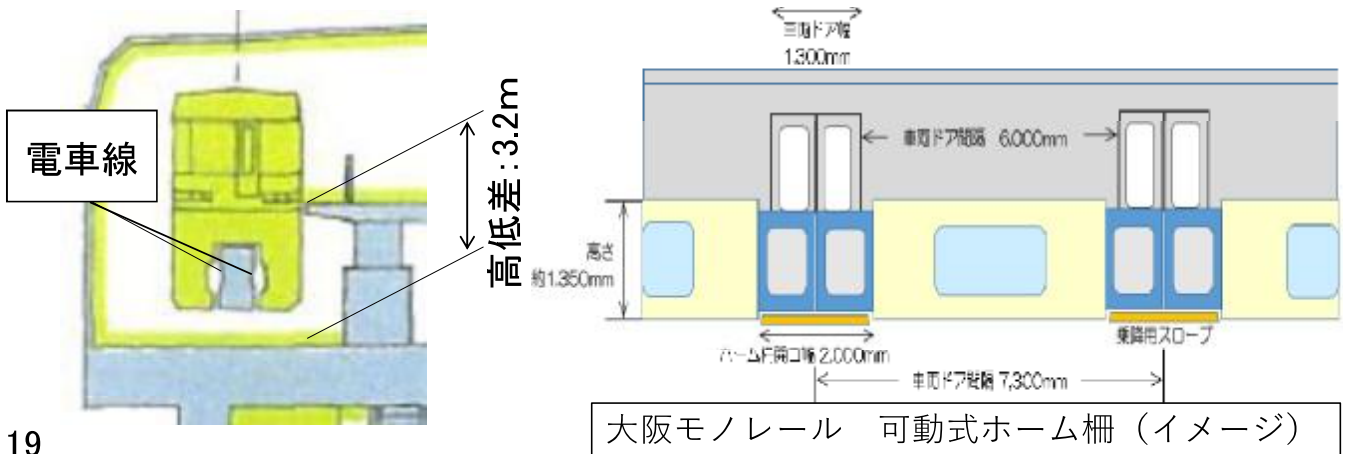
- ・モノレールは軌道下からホームまでの間に約3.2mの高低差
- ・軌道側面に電車線(直流1500v)が設置されている



地震時の揺れで、転落し、電車線に接触すれば重大な事故につながる



安全性を向上させるため、今年度から可動式ホーム柵の設置に着手
2022年度末までに、全18駅に可動式ホーム柵を設置する。



2018年8月22日

「声かけ・サポート」運動 強化キャンペーンを9月3日（月）から実施します。

交通事業者 76 社局、障害者団体を含む 6 団体で実施します。
 ※共催・協力事業者等の詳細につきましては、以下にお伝えします。

「声かけ・サポート」運動 強化キャンペーンの実施について

「声かけ・サポート」運動は、鉄道等をご利用になるお客さまが安全に安心して施設をご利用いただけるよう、お困りのお客さまに対して社員から積極的にお声かけを行うとともに周囲のお客さまからもお声かけにご協力いただく取り組みです。

今年度は、初めて全国で同時に取り組むこととなり運動の輪が広がり、交通事業者 76 社局と障害者団体を含む 6 団体が連携します。

今年度の「声かけ・サポート」運動強化キャンペーンについては、下記の内容を実施します。

記

1. キャンペーン期間

2018年9月3日（月）～10月31日（水）まで

2. キャンペーン内容

駅構内等へのポスターの掲出（別紙）、ディスプレイ等への映像放映

3. 関連イベント

共催・協力事業者等が実施する関連イベントについては、各社ホームページ等でお知らせいたします。

4. 共催・協力事業者（76 社局 6 団体）

（共催）交通事業者 76 社局

北海道旅客鉄道株式会社	秩父鉄道株式会社	横浜高速鉄道株式会社
東日本旅客鉄道株式会社	新京成電鉄株式会社	流鉄株式会社
東海旅客鉄道株式会社	関東鉄道株式会社	しなの鉄道株式会社
西日本旅客鉄道株式会社	江ノ島電鉄株式会社	上田電鉄株式会社
四国旅客鉄道株式会社	箱根登山鉄道株式会社	アルピコ交通株式会社
九州旅客鉄道株式会社	伊豆箱根鉄道株式会社	長野電鉄株式会社
東武鉄道株式会社	埼玉高速鉄道株式会社	北越急行株式会社
西武鉄道株式会社	埼玉新都市交通株式会社	えちごトキめき鉄道株式会社
京成電鉄株式会社	芝山鉄道株式会社	名古屋鉄道株式会社
京王電鉄株式会社	首都圏新都市鉄道株式会社	伊豆急行株式会社
小田急電鉄株式会社	多摩都市モノレール株式会社	岳南電車株式会社
東京急行電鉄株式会社	東京モノレール株式会社	静岡鉄道株式会社
京浜急行電鉄株式会社	東京臨海高速鉄道株式会社	大井川鐵道株式会社
東京地下鉄株式会社	東葉高速鉄道株式会社	遠州鉄道株式会社
相模鉄道株式会社	北総鉄道株式会社	豊橋鉄道株式会社

株式会社東海交通事業	泉北高速鉄道株式会社
名古屋ガイドウェイバス株式会社	北大阪急行電鉄株式会社
名古屋臨海高速鉄道株式会社	大阪高速鉄道株式会社
愛知高速交通株式会社	能勢電鉄株式会社
天竜浜名湖鉄道株式会社	北神急行電鉄株式会社
伊勢鉄道株式会社	神戸電鉄株式会社
愛知環状鉄道株式会社	山陽電気鉄道株式会社
阪神電気鉄道株式会社	神戸新交通株式会社
阪急電鉄株式会社	大阪市高速電気軌道株式会社
京阪電気鉄道株式会社	西日本鉄道株式会社
近畿日本鉄道株式会社	東京都交通局
南海電気鉄道株式会社	横浜市交通局
近江鉄道株式会社	名古屋市交通局
京福電気鉄道株式会社	神戸市交通局
叡山電鉄株式会社	京都市交通局
	福岡市交通局

(協力) 一般社団法人日本民営鉄道協会、一般社団法人日本地下鉄協会、

社会福祉法人日本盲人会連合、公益財団法人日本盲導犬協会、東京商工会議所

九都県市首脳会議(埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、横浜市、川崎市、千葉市、さいたま市、相模原市)

5. 後援

国土交通省

●駅構内ポスターの掲出（共催各社局駅等にて掲出）

いろいろな「声かけ」、 いろいろな「優しさ」。

「お手伝いしましょうか」
お声かけ自体がサポートです。



「盲導犬を連れての方、
止まってください！」
危険を感じたらすぐ呼びかけを。



車いすをご利用のお客さまには
安心につながるサポートを。



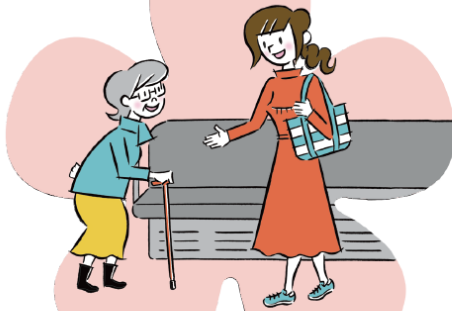
「大丈夫ですか」
お困りの方にはひと声を。



お困りの外国人には
「May I help you?」の
ひと声を。



優先席を必要とされている
お客さまには「どうぞ」のひと言を。



点字ブロックの上に
物を置かないで！

点字ブロックは視覚に障害がある方が
安全に移動するための設備です。
立ち止まったり、
物を置いたりするのはやめましょう。



「声かけ・サポート」運動、拡大中。

声をかけるといふ思いやり。今、広がっています。



北海道旅客鉄道株式会社 東日本旅客鉄道株式会社 東海旅客鉄道株式会社 西日本旅客鉄道株式会社 四国旅客鉄道株式会社 九州旅客鉄道株式会社 東武鉄道株式会社 西武鉄道株式会社 京浜東北線株式会社 小田急電鉄株式会社 東京急行電鉄株式会社
京浜東北線株式会社 東武東上線株式会社 相模鉄道株式会社 東武東上線株式会社 伊豆箱根鉄道株式会社 相模鉄道株式会社 埼玉新都市交通株式会社 近畿鉄道株式会社
長野県新都市交通株式会社 多摩都市モノレール株式会社 東京モノレール株式会社 東武東上線株式会社 東武東上線株式会社 北越鉄道株式会社 横浜高速鉄道株式会社 京浜東北線株式会社 上田電鉄株式会社 アルピコ交通株式会社
長野県新都市交通株式会社 北越鉄道株式会社 八戸線株式会社 伊豆箱根鉄道株式会社 京浜東北線株式会社 静岡鉄道株式会社 大井川鉄道株式会社 遠州鉄道株式会社 豊橋鉄道株式会社 株式会社東海交通事業 名古屋ガイドウェイバス株式会社
名古屋高速鉄道株式会社 愛知高速交通株式会社 天竜浜名湖鉄道株式会社 伊勢鉄道株式会社 愛知環状鉄道株式会社 阪神電気鉄道株式会社 阪神電気鉄道株式会社 近畿日本鉄道株式会社 南海電気鉄道株式会社 近江鉄道株式会社
京浜東北線株式会社 豊山電気株式会社 北北高速鉄道株式会社 北北高速鉄道株式会社 京浜東北線株式会社 北神急行電鉄株式会社 北神急行電鉄株式会社 神戸電鉄株式会社 山陽電気鉄道株式会社 神戸新交通株式会社 大阪市高速電気軌道株式会社
近畿日本鉄道株式会社 豊原交通株式会社 豊原交通株式会社 名古屋交通株式会社 神戸交通株式会社 京都市交通株式会社 京都市交通株式会社 京都市交通株式会社
協力：一般社団法人日本民営鉄道協会 一般社団法人日本地下鉄協会 社会福祉法人日本盲導犬協会 公益財団法人日本盲導犬協会 東京職工会議所 九都府市首長会議(埼玉・千葉・東京・神奈川・横浜) 川崎市・千葉市・さいたま市・相模原市
後援：国土交通省

18-11

2018年2月14日

視覚に障がいのある高校生向け「鉄道施設体験学習会」を開催します 総合研修訓練センターで駅の構造や設備の仕組みを学びます

東京メトロ（本社：東京都台東区 社長：山村 明義）は、視覚に障がいのある高校生を対象とした「鉄道施設体験学習会」を2018年2月28日（水）に実施いたします。

この体験学習会は、東京メトロと都立文京盲学校が連携し、視覚に障がいのある高校生が鉄道施設に実際に触れて、駅の構造などを学ぶことで、鉄道を安全に利用していただくことを目的に開催されるものです。

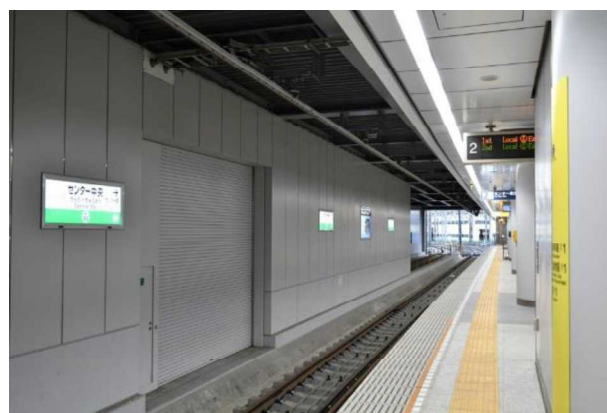
今回は、総合研修訓練センターにある模擬ホームを活用し、視覚に障がいのある高校生が、ホーム下構造物の位置関係を体感するとともに、ホーム上の非常停止ボタンが操作された状況を再現し、駅設備のしくみを理解することで、鉄道の安全利用を学びます。

東京メトロは社会貢献活動の一環として、これからも次世代育成の支援に積極的に取り組んでまいります。詳細は以下のとおりです。

- 1 開催日 2018年2月28日（水） 9:45～12:00
- 2 開催場所 東京メトロ総合研修訓練センター（東京都江東区新木場 4-4-15）
- 3 参加人数 都立文京盲学校 高等部 生徒 13名（予定）
- 4 学習内容
模擬ホームでの体験会
 - ・ホーム下：ホーム下の構造物やレール等の位置関係について体感します。
 - ・ホーム上：非常停止ボタンが操作された状況を再現し、駅設備のしくみを学びます。



総合研修訓練センター外観



模擬ホーム

平成30年7月6日

地元高校生を対象に「心のバリアフリー教室」を開催します ～ディスカッションとバリアフリー体験を企画！～

中部運輸局・中部地方整備局と連携した「心のバリアフリー教室」を下記のとおり開催します。

1 開催日時

平成30年7月26日（木）午後1時30分～午後5時30分

2 開催場所

- ・名古屋市昭和区役所6階601会議室（昭和区阿由知通3丁目19番）
- ・地下鉄御器所駅構内（昭和区阿由知通3丁目23番の1地先）

3 主催

国土交通省中部運輸局、中部地方整備局、名古屋市、名古屋市交通局

4 対象

桜花学園高等学校及び名古屋国際高等学校の生徒約30名

5 協力

桜花学園高等学校、名古屋国際高等学校

6 内容

- （1）市バス・地下鉄のバリアフリーへの取組みを紹介します。
- （2）障害者の方の経験談から、障害者の方の「思い」や障害によって抱えるバリアが異なることを理解します。
- （3）地下鉄御器所駅構内での車椅子・視覚障害の疑似体験を通して、障害者の方が困ったときには、どのように声をかけて、どのような手助けを求められているのかを理解します。
- （4）障害者の方との交流や体験を通じて、障害者の方と高校生と行政との立場から、障害に関してディスカッションを行います。

バリアフリー（車椅子）体験コース

参考写真：平成30年1月15日の開催の様子



- ①：スタート、ゴール、交代
- ②：身障用トイレ・・・・・・扉の開け閉め、便座、手すり、洗面台
- ③：券売機・・・・・・画面の見やすさ、お金の投入、ボタン
- ④：自販機・・・・・・ボタン、お金の投入、取り出し
- ⑤：滑り止め加工の通路・・・・・・緩やかな傾斜、滑り止め加工
- ⑥：広いスペース・・・・・・危険と思われる行為（できれば正座をして両手は頭の上にするこことより体幹を支える力の無い人・弱い人の状態に近づける）急発進、急停止、急に進路変更、壁際を早めに通過